

武雄市高齢者福祉計画

2018～2020年度
(平成30～32年度)

2018年(平成30年)3月／武雄市

目 次

第 1 章 計画策定の趣旨

- 1 計画策定の背景・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画期間・・・・・・・・・・・・・ 1

第 2 章 高齢者要望等実態調査・・・・・・・・・・・・・ 2

第 3 章 高齢者の現状と将来推計

- 1 人口構造・・・・・・・・・・・・・ 7
- 2 要介護者等の状況・・・・・・・・・・・・・ 9

第 4 章 基本理念・基本方針・重点課題

- 1 基本理念・・・・・・・・・・・・・ 10
- 2 基本方針・・・・・・・・・・・・・ 11
- 3 重点課題・・・・・・・・・・・・・ 12
- 武雄市高齢者福祉計画の展開図・・・・・・・・・・・・・ 14

第 5 章 重点課題の施策・目標

重点課題 1 介護保険サービスの充実・・・・・・・・・・・・・ 15

重点課題 2 老人福祉施設の充実

- ①養護老人ホーム・・・・・・・・・・・・・ 17
- ②軽費老人ホーム・・・・・・・・・・・・・ 17
- ③介護利用型軽費老人ホーム・・・・・・・・・・・・・ 18
- ④老人福祉センター・・・・・・・・・・・・・ 18
- ⑤在宅介護支援センター・・・・・・・・・・・・・ 19
- ⑥高齢者生活福祉センター・・・・・・・・・・・・・ 20

重点課題 3 生活支援の充実

- ①配食サービス・・・・・・・・・・・・・ 21
- ②家族介護者への支援・・・・・・・・・・・・・ 22
- ③高齢者軽度生活援助事業・・・・・・・・・・・・・ 23
- ④生活管理指導事業・・・・・・・・・・・・・ 23
- ⑤緊急通報システム事業・・・・・・・・・・・・・ 24
- ⑥地域住民グループによる定期訪問活動支援事業・・・・ 24
- ⑦老人福祉電話・・・・・・・・・・・・・ 25

⑧生活支援体制整備事業	25
⑨身近な移動手段の確保	26
⑩地域における拠点施設の整備	27

重点課題4 高齢者の生活環境整備

①高齢者向け住宅等	28
②高齢者が利用しやすい公共施設の整備	28
③暮らしの安全確保	29

重点課題5 認知症対策の推進

①認知症ケアパスの作成、普及	30
②認知症サポーターの養成	30
③認知症地域支援推進員の設置	31
④認知症初期集中支援チームの設置	31
⑤成年後見制度等の利用促進	32

重点課題6 高齢者の権利擁護

①高齢者虐待防止対策の推進	33
---------------	----

重点課題7 健康づくり・生きがいづくりの推進

①高齢者生きがい活動支援通所事業	34
②介護予防教室等	35
③老人クラブ等への支援	36
④生涯学習	36
⑤高齢者の就業	37
⑥リハビリテーション専門職等を活かした 自立支援の推進	37
⑦住民主体の通いの場の創出支援	38

重点課題8 地域を支えるネットワークの充実強化

①地域包括支援センターの機能強化	39
②情報共有・情報提供の体制	40
③多職種連携による地域ケア会議の推進	40
④医療・介護の連携	41
⑤地域関係団体・ボランティア等の民間団体との連携	41

武雄市地域ケアネットワーク	43
----------------------	----

武雄市の老人福祉関係施設・事業者一覧	44
---------------------------	----

武雄市老人高齢者計画策定委員会委員名簿	48
----------------------------	----

第 1 章 計画策定の趣旨

1 計画策定の背景

わが国の平均寿命は世界でも最高水準となり、高齢期は今や誰もが迎える時代となっており、65 歳以上の高齢者の割合（高齢化率）は、全国では平均 27.7%、佐賀県は 29.0%となっております。（2017 (H29) 年 10 月現在）

武雄市では、2011 (H23) 年の高齢化率は 24.9%でしたが、2014 (H26) 年には 27.2%、2017 (H29) 年には 29.4%と国や県を上回るペースで進んでおり、住民の 3 人に 1 人が高齢者という状況に近くなっています。

このような高齢化の急速な進行を踏まえ、団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者を迎える 2025 (H37) 年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に供給される地域包括ケアシステムの構築が重要となっています。

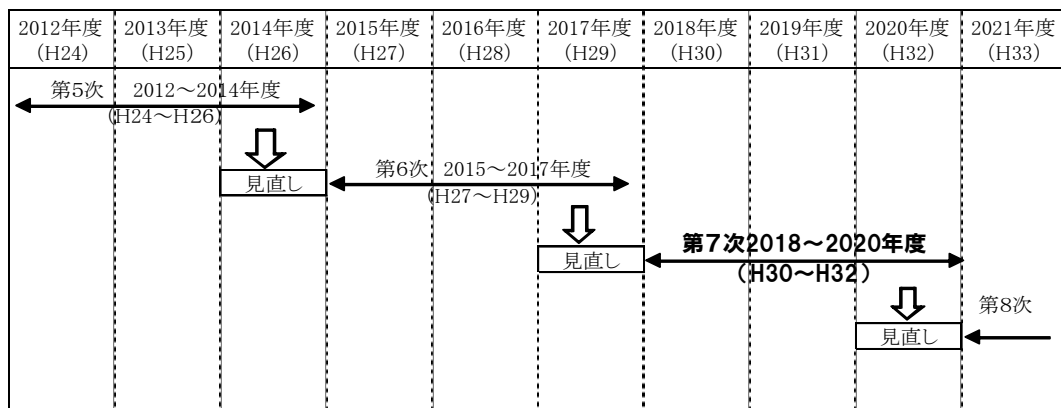
また、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるしくみの構築など高齢者に対する介護サービスや介護予防・生活支援のための保健福祉サービスの連携を通じて、高齢者の生活を支えるきめ細かな仕組みづくりが求められています。

2 計画の位置づけ

高齢者福祉計画は、老人福祉法第 20 条の 8 第 2 項に定める「市町村老人福祉計画」として策定するものです。また、杵藤地区広域市町村圏組合（以下「広域圏」という。）が定める「介護保険事業計画」と整合性をもって作成するとともに、「さがゴールドプラン 21（佐賀県高齢者保健福祉計画・佐賀県介護保険事業支援計画）」等の関連計画についても調和した策定を行います。

3 計画期間

2018 (H30) 年度から 2020 (H32) 年度までの 3 年間の計画とし、3 年後に計画の見直しを行います。



第2章 高齢者要望等実態調査

この計画の策定に先立ち、武雄市の高齢者の生活実態や健康状態等を把握し、計画見直しの基礎資料を得ることを目的に、佐賀全県下において 2017(H29)年 3 月に統一内容でのアンケート調査を実施しました。

◇高齢者要望等実態調査（武雄市）

1. 調査の目的 高齢者などの生活実態や健康状態等を把握するため。
2. 回収の状況 ・調査配布数 3, 1 5 8 人
 ・有効回収数 1, 8 6 5 人
 ・有効回収率 5 9. 1 %
3. 調査対象者 6 5 歳以上の高齢者（要支援・要介護認定者を含む）

【調査配布数の内訳】

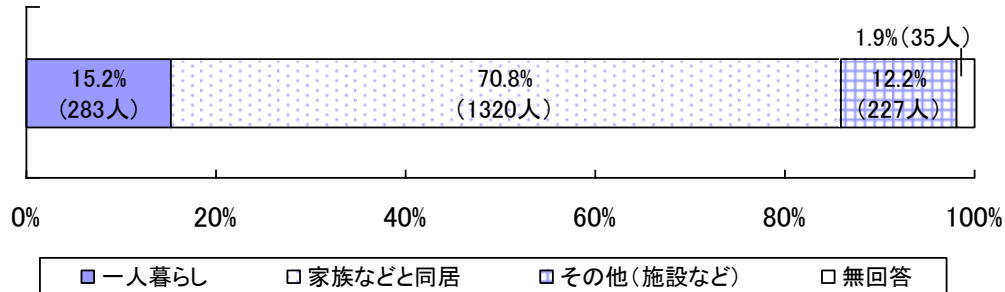
調査対象者			調査数
在宅者	要支援	要支援の認定を受けた在宅者	514
	要介護	要介護の認定を受けた在宅者	861
施設入所者		介護保険施設への入所者	150
二次予防事業対象者		特定高齢者（介護が必要となる恐れのある高齢者）	633
一般高齢者		65 才以上の一般高齢者	902
民生児童委員		65 才以上の民生委員児童委員	98
合 計			3, 158

（資料：杵藤地区介護保険事務所）

①家族や生活状況

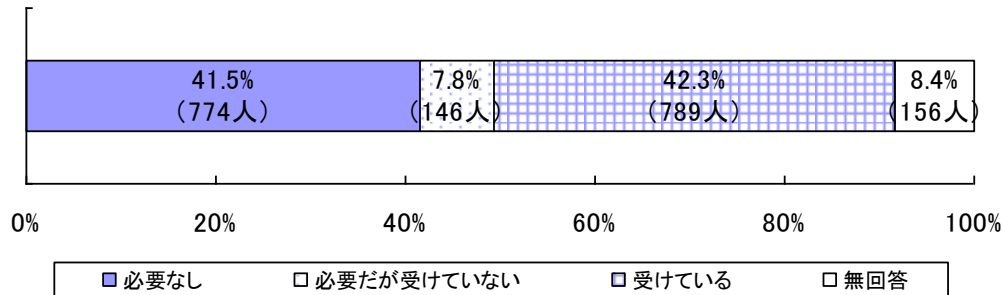
【家族構成】

「家族など同居」が70.8%で最も多く、次いで「一人暮らし」が15.2%を占める。



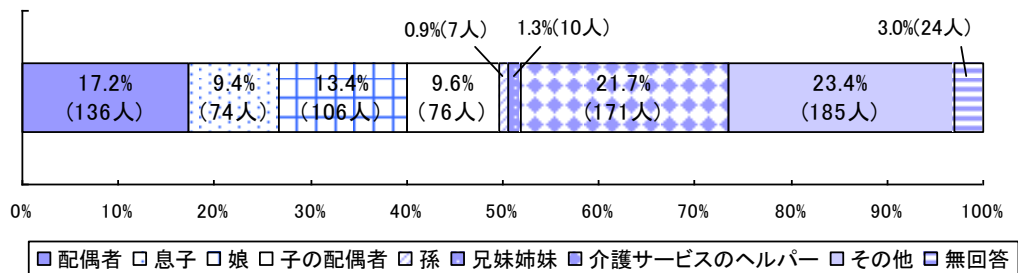
【普段での生活で介護・介助が必要か】

「介護を受けている」「必要なし」はともに約40%を占め、「必要だが受けていない」人は7.8%となっている。



【主な介護者】～何らかの介護・介助を受けている方のみ～

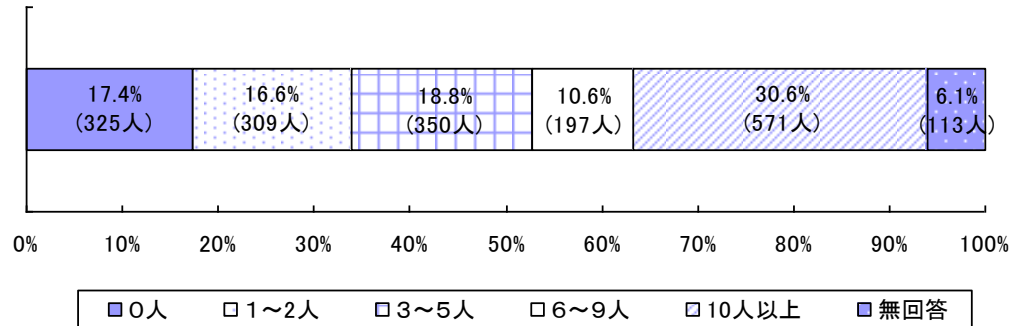
「家族」の割合が合わせると51.8%と過半数を占める。次いで、「介護サービスのヘルパー」が21.7%となっている。



②社会参加

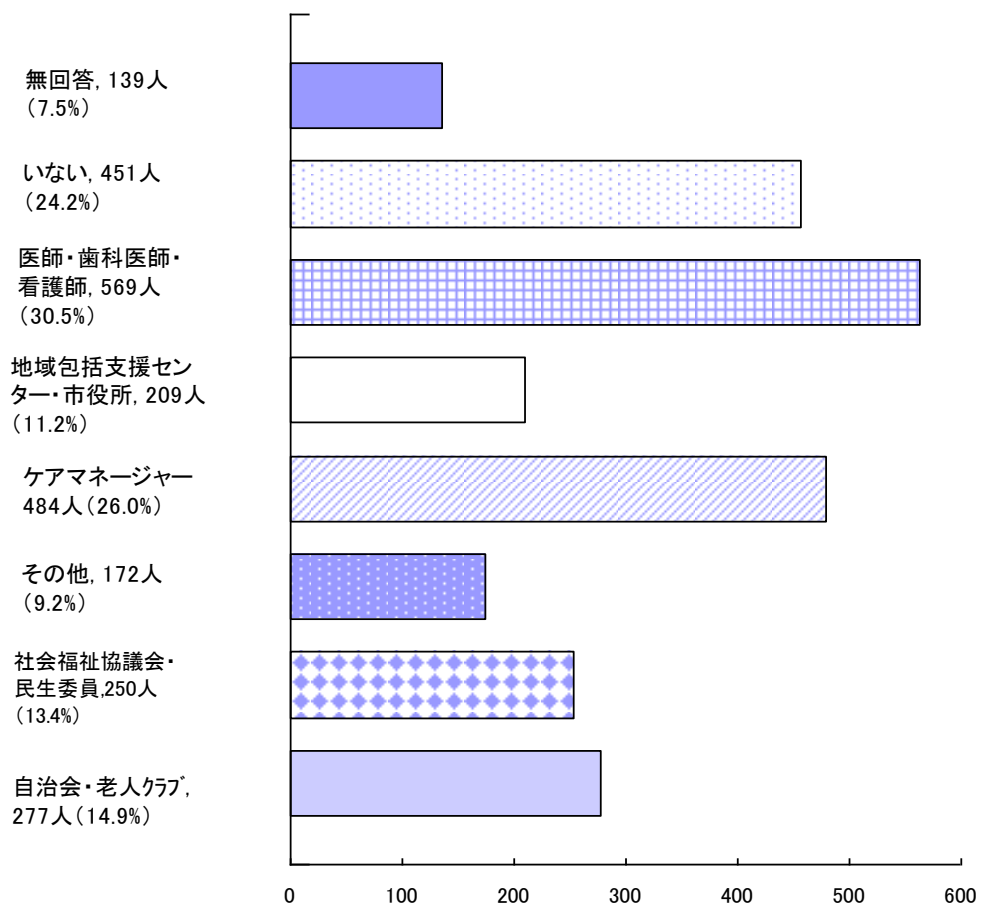
【この1ヶ月に会った友人・知人の数】

会った友人の数は「10人以上」が30.6%と最も多く、「0人(いない)」は17.4%となっている。



【家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手】

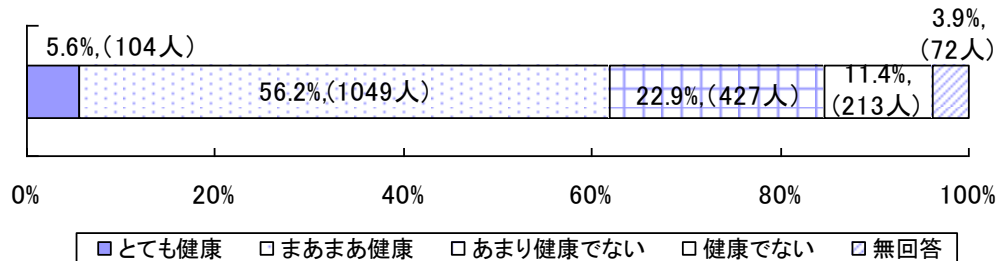
「医師・歯科医師・看護師」が30.5%で最も多く、次いで「ケアマネージャー(介護支援専門員)」が26.0%、「そのような人はいない」が24.2%の順となっている。



③健康・その他

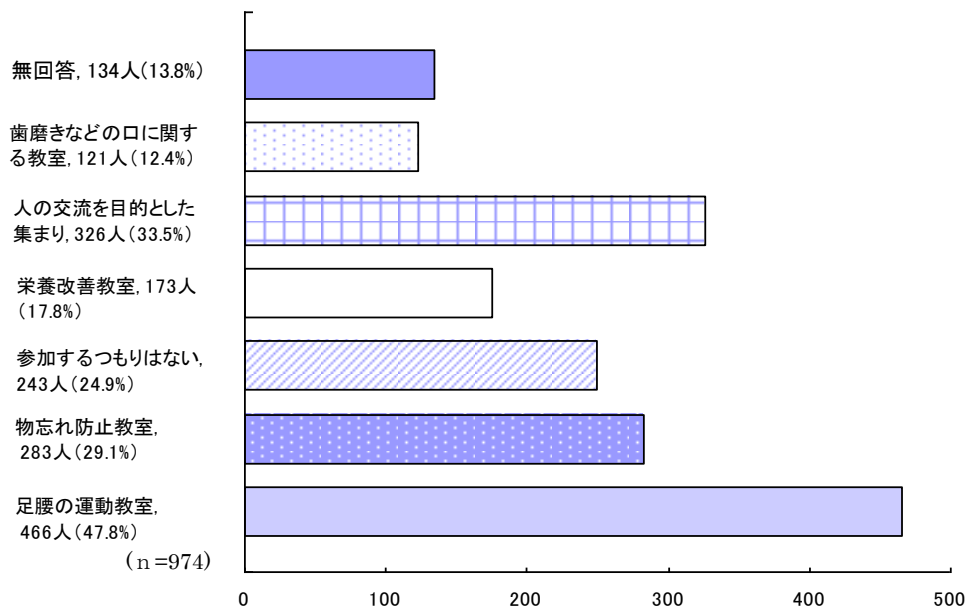
【主観的健康感】

「まあまあ健康」が56.2%と最も多く、次いで「あまり健康でない」が22.9%となっている。



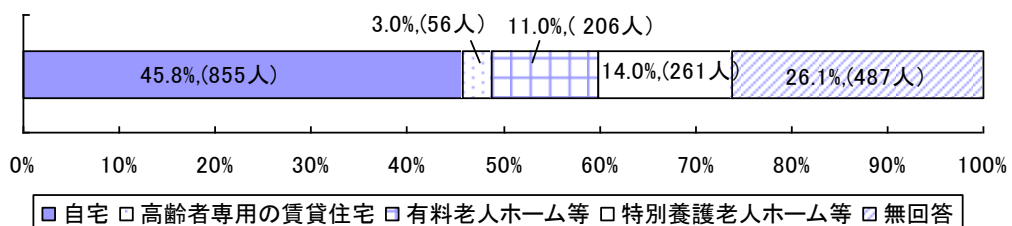
【生きがいある生活を送るために参加したいこと】

「足腰の運動教室」が47.8%、「人の交流を目的とした集まり」が33.5%、次いで「物忘れ防止教室」が29.1%の順となっています。



【自分だけの力で普段の生活を営むことが難しくなった場合の住まい】

「自宅で暮らしたい」が45.8%を占めていますが、「有料老人ホーム等」と「特別養護老人ホーム等」を合わせた割合が25%となっています。



④生活機能評価

生活機能について、運動器については一般高齢者と二次予防対象者以下で大きな差がみられる一方で、栄養については一般高齢者から要介護認定者まであまりリスクの差はみられません。

また、認知症、うつ予防、転倒については、一般高齢者の中にもリスクがある者が相当いることがわかりました。

〈生活機能のリスク〉

項 目	概 要
運動器	・男性44.6%に対し女性65.3%で、女性のリスクが高い。 ・要介護状態が進むにつれ運動器リスクが高くなる。 ・二次予防対象者でも6割以上でリスクあり。
閉じこもり	・男性7.5%に対し女性9.1%で、女性のリスクが少し高い。 ・要介護状態が進むにつれ、閉じこもりの割合が高くなる。 ・市全体は13.4%で、広域圏内の他市町に比べやや高い割合となっている。
転倒	・男性41.6%に対し女性49.0%で、女性の転倒リスクが高い。 ・要支援が76.5%で最も高く、要介護者59.9%よりも転倒リスクが高い。
栄養	・男性2.4%、女性4.6%で、全般的に栄養状態は良い。 ・栄養リスクの差はあまりないが、要介護者4.2%や要支援者4.8%に比べ、二次予防対象者が7.1%でリスクが高い。
口腔	・男性38.5%、女性38.3% ・二次予防対象者が63.6%で最もリスクが高く、一般高齢者にはいない。 ・市全体は38.4%で、広域圏内で江北町と並んでリスクが高い。
認知	・男性50.9%に対し、女性54.2%で女性の方が認知リスクが高い。 ・要介護が88.5%で最も高く、一般高齢者は21.9%と、認定状況に応じた割合となっている。 ・市全体は53.1%で、広域圏内で3番目に割合が高い。
認知機能障害	・男性50.1%、女性48.6% ・要介護が86.8%で最も割合が高く、一般高齢者は16.0%と認定状況に応じた割合となっている。 ・市全体は46.6%で、広域圏内で3番目に割合が高い。
うつ予防	・男性38.0%、女性39.5%で、女性のうつ割合が少し高い。 ・要支援が55.2%で最も高く、要介護48.3%より高い。 ・市全体は39.0%で、広域圏内で2番目に高い。
虚弱	・男性36.4%、女性45.0%で、女性の虚弱が多い。 ・要介護が87.3%で最も高く、認定状況に応じて高くなっている。 ・広域圏内の他市町も4割前後だが、武雄市は42.1%と比較的虚弱の割合が高い。

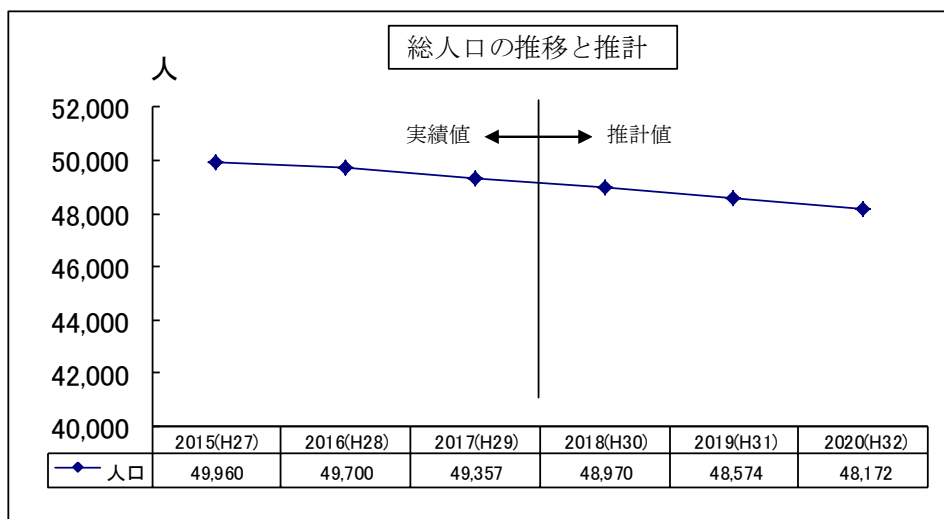
第3章 高齢者の現状と将来推計

1 人口構造

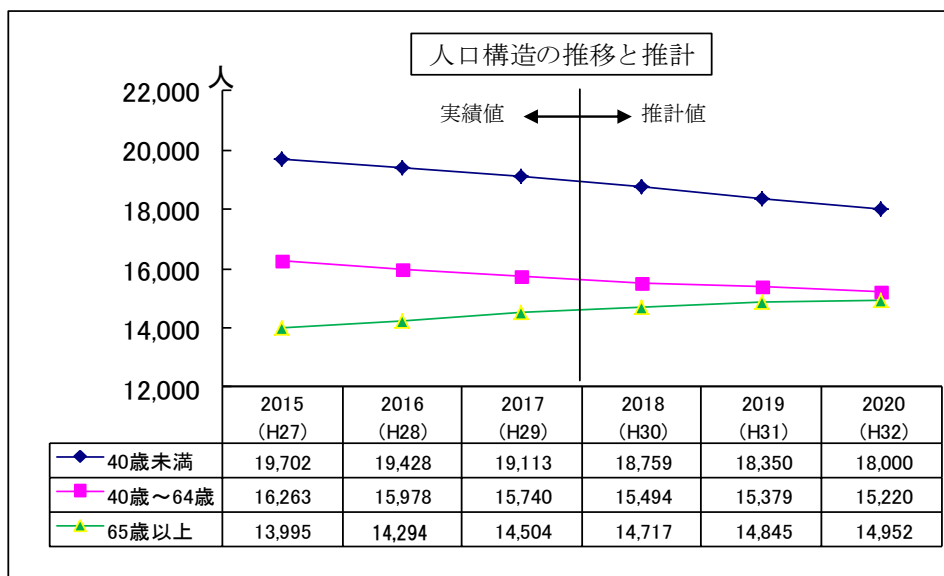
(1) 推移と推計

武雄市の総人口では、2017(H29)年の49,357人のところ2020(H32)年では48,172人と、1,185人の減少を見込んでいます。

人口構造では、40歳未満の人口で2017(H29)年の19,113人を2020(H32)年では18,000人(1,113人減)と見込み、また、65歳以上の高齢者人口で2017(H29)年の14,504人を2020(H32)年では14,952人(448人増)と見込み、少子高齢化が続くものと予想しています。



資料 杵藤地区広域市町村圏組合介護保険事務所

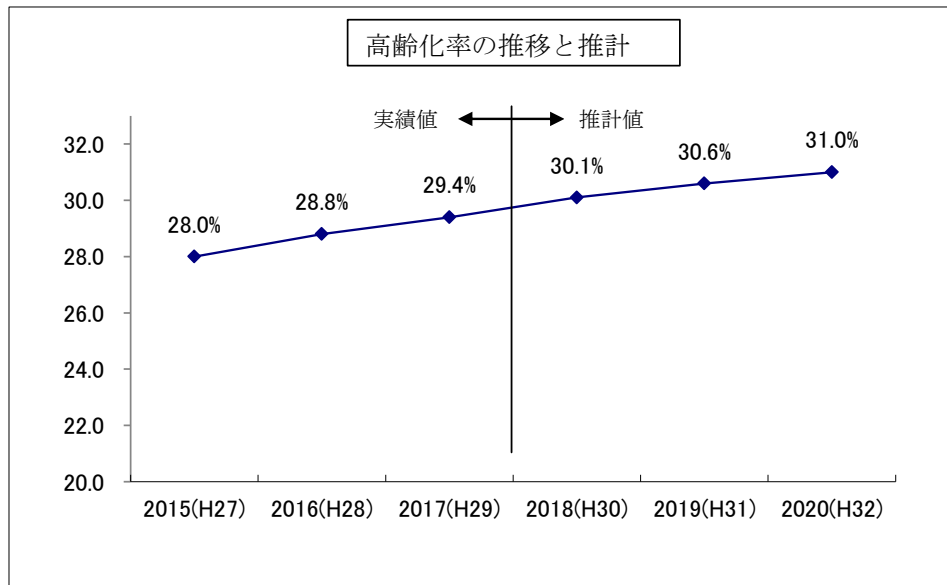


資料 杵藤地区広域市町村圏組合介護保険事務所

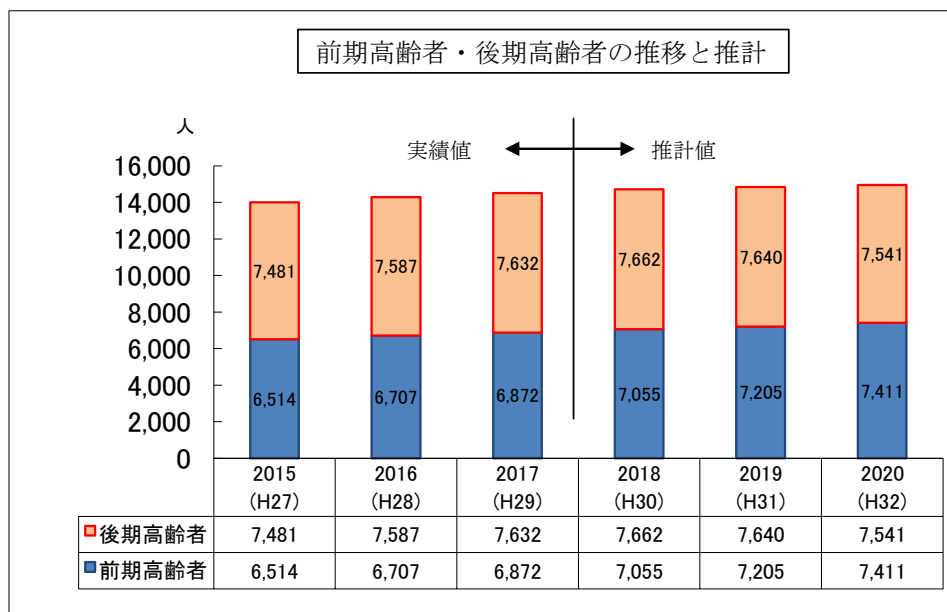
(2) 高齢化率等

総人口に占める 65 歳以上人口の割合、すなわち高齢化率は 2017 (H29) 年で 29.4%であったのが 2020 (H32) 年では 31.0%と見込み、1.6 ポイント増となっています。

後期高齢者 (75 歳以上) の人口は増減が少ないのに対し、前期高齢者 (65～74 歳) の人口が、右肩上がりに上昇しているのは、団塊の世代が高齢者になっているためだと考えられます。



資料 杵藤地区広域市町村圏組合介護保険事務所



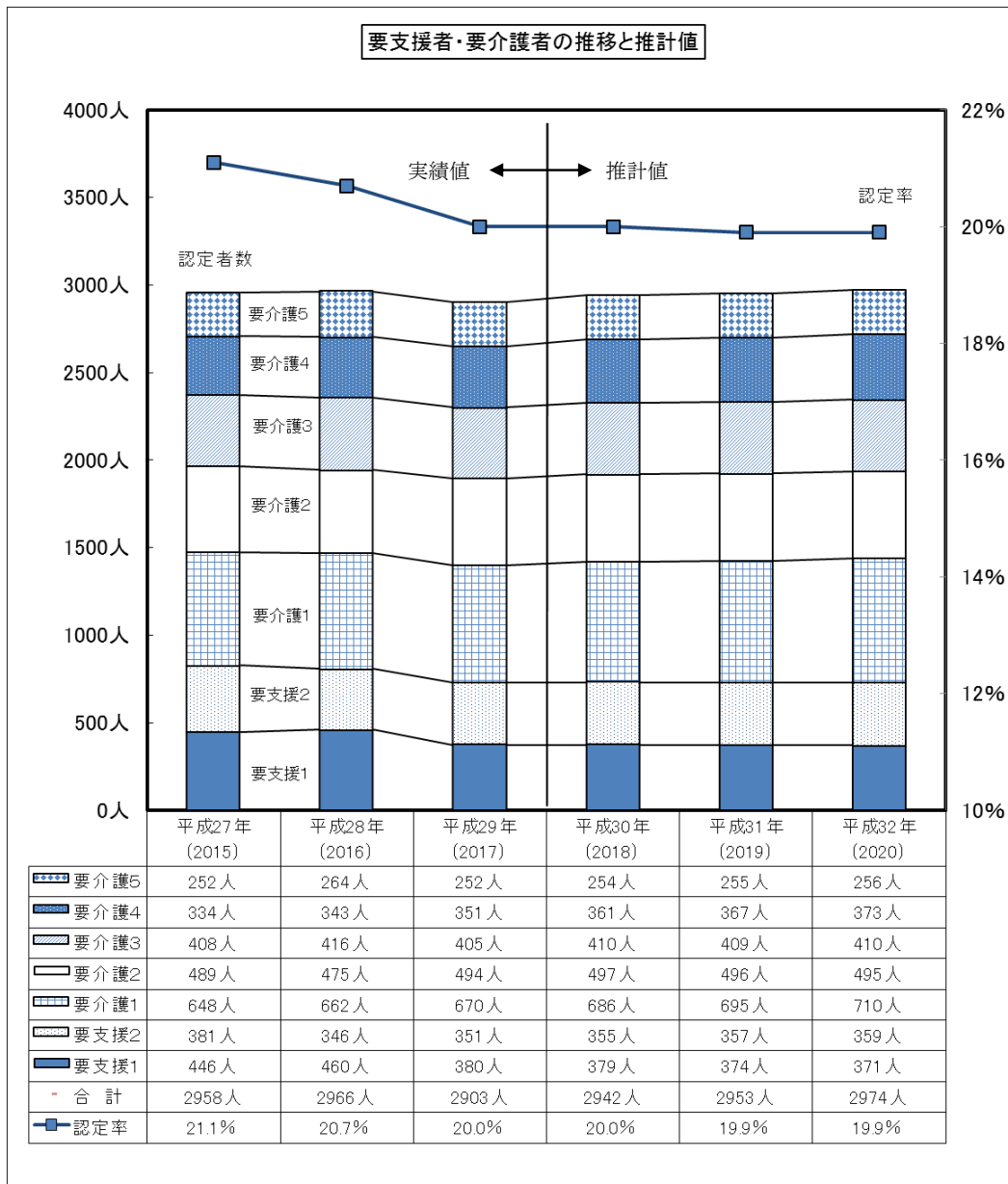
資料 杵藤地区広域市町村圏組合介護保険事務所

2 要介護者等の状況

武雄市での介護保険の要支援・要介護認定の推移と推計は、次のとおりです。

認定者数は、年々増加傾向で推移してきましたが、介護予防・日常生活支援総合事業への移行に伴う要支援１・２の認定者数の減少や要介護認定更新通知の廃止に伴い、2016（H28）年から2017（H29）年にかけては減少しています。

しかし今後も、高齢者数の増加に伴い、緩やかに増加するものと見込まれます。



資料：杵藤地区広域市町村圏組合介護保険事務所

第4章 基本理念・基本方針・重点課題

1 基本理念

一人ひとりが地域や家庭で自立し、生きがいのある充実した生活を送るためには、まず健康づくりが重要です。自分の健康は自らが守るという健康意識の高揚を図りながら、市民にそれぞれの状態やニーズにあったサービスを提供できるよう保健・医療・福祉の充実とその連携が重要です。

また、武雄市の急速な少子高齢化、保健福祉サービスに対する高齢者のニーズが多様化するなかで、高齢者などの自立を援助し、地域社会をいきいきとしたものとするために、保健・医療・福祉の総合的な展開とともに、教育、就労、住宅、交通などの生活分野との関連した施策、さらには、市民をも巻き込んだ地域活動の推進、それらを組み込んだ地域ケアとしての展開が望まれています。

これらのことから、武雄市高齢者福祉計画の基本理念は、次のように定めます。

**■ともに認め合い、支え合いながら、住み慣れたところで
自分らしく安心して暮らすことができるまちづくり**

2 基本方針

「ともに認め合い、支え合いながら、住み慣れたところで自分らしく安心して暮らすことができるまちづくり」という基本理念のもとに、生涯を通じて、住み慣れた地域で社会とつながり、安心して暮らすことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築を推進する必要があります。

この理念をさらに方向づける基本方針として、次の3つを基本方針とします。

基本方針1 もしもの時に安心できるまち

基本方針2 高齢者のにぎわいがみえるまち

基本方針3 高齢者を支えるネットワークのまちづくり

3 重点課題

基本方針1 「もしもの時に安心できるまち」の実現にむけての重点課題

高齢者が安心して暮らすためには、何かあったときにも支えがあることが重要です。まちにその支えがあるからこそ、高齢者をはじめみんながぬくもりを実感して暮らすことができます。

そのためには、介護や支援が必要となったときにも必要なサービスや支援を受けることができるよう、これまで住んできた地域での生活を支える体制が整っていることが重要です。

今後増加することが見込まれる認知症の人に適切に対応するため、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、さらに、高齢者が安全で安心な生活ができるように、権利擁護や虐待への取組みを推進します。

これらのことから、次の6つを重点課題とします。

- | | |
|-------|-------------|
| 重点課題1 | 介護保険サービスの充実 |
| 重点課題2 | 老人福祉施設の充実 |
| 重点課題3 | 生活支援の充実 |
| 重点課題4 | 高齢者の生活環境整備 |
| 重点課題5 | 認知症対策の推進 |
| 重点課題6 | 高齢者の権利擁護 |

基本方針2 「高齢者のにぎわいがみえるまち」の実現にむけての重点課題

高齢者は自立した生活を強く望んでいます。高齢者が健康で社会においても自立した活動を行うことで、世代をこえた交流が生まれ、まちがにぎわい、より豊かになってきます。

そのためには、自らの意思のもと健康づくりが行えると同時に、積極的に社会に参加し、地域社会の中で自らの経験や知識を活かして、主体的で責任のある役割を担っていくことで、生きがいを感じることができる体制を整えることが必要です。

これらのことから、重点課題を次のように定めます。

重点課題7 健康づくり・生きがいづくりの推進

基本方針3 「高齢者を支えるネットワークのまちづくり」の実現にむけての重要課題

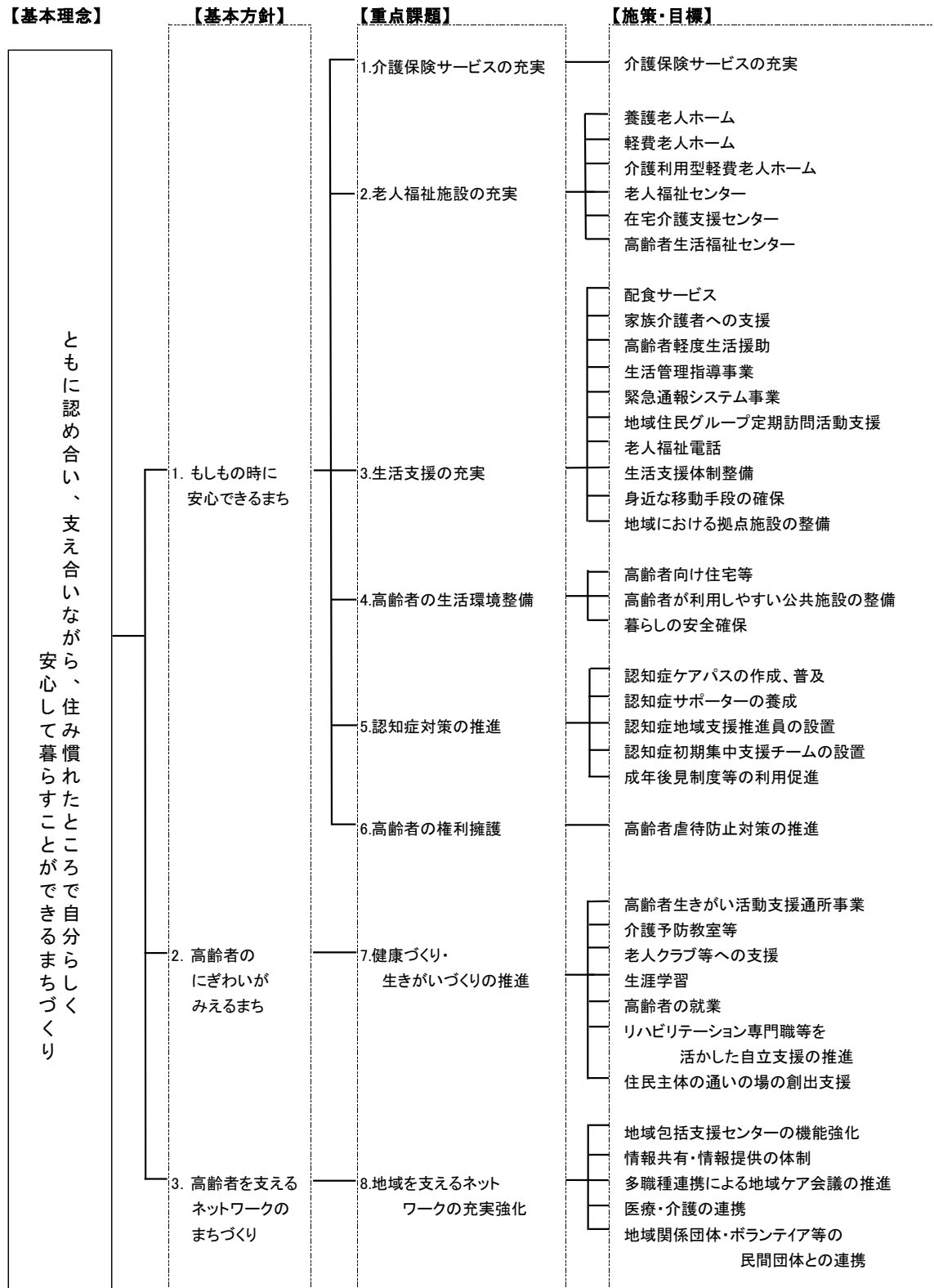
高齢者の地域での自立した生活を支援していく体制の整備を進めるとともに、地域ぐるみで高齢者を見守り、支える体制の確立を図ります。

また、医療・介護の関係機関が連携して、在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するとともに、地域包括支援センターを核にして、地域ケア会議の活用などを行いながら、地域における高齢者等のネットワークの構築を図ります。

このことから、重点課題を次のように定めます。

重点課題8 地域を支えるネットワークの充実強化

武雄市高齢者福祉計画の体系図



第5章 重点課題の施策・目標

重点課題1 介護保険サービスの充実

介護保険事業については、武雄市では、杵藤地区広域市町村圏組合が介護保険の保険者となり、介護保険制度全般について広域的な取組みにより実施しています。

基本的な視点は、「地域包括ケアシステムの深化・推進」「介護保険制度の持続可能性の確保」を目指すものです。

この地域包括ケアシステムを深化・推進していく観点から、「自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化等の取組」、「医療・介護の連携」、「地域共生社会の実現に向けた取組」などを推進するため、第7期中に介護保険制度等の一部が改正されます。

主な改正点は、①サービス利用料の3割負担導入、②福祉用具の貸与価格の全国平均価格の公表、③「介護医療院」の創設、④「共生型サービス」の創設、⑤介護報酬改定等となっております。

杵藤地区広域市町村圏組合では、介護保険制度改正を踏まえて、高齢者が、それぞれの住み慣れた地域において、自分らしく安心して暮らしていけるよう、第7期の介護保険事業計画を策定し、これに基づき、2018（H30）年度から2020（H32）年度までの3年間についての事業が運営されます。

2015（H27）年度から2017（H29）年度までの杵藤地区の状況については、次のとおりです。

■ 杵藤地区の総人口の推移

（単位：人）

区 分	2015（H27）	2016（H28）	2017（H29）
計 画	1 5 8, 8 8 8	1 5 7, 3 5 1	1 5 5, 7 8 7
実 績	1 5 8, 3 5 9	1 5 6, 8 5 4	1 5 5, 0 2 0
比較（実績－計画）	△ 5 2 9	△ 4 9 7	△ 7 6 7

（資料：杵藤地区介護保険事務所）

■ 杵藤地区の高齢者（65歳以上）人口の推移

（単位：人）

区 分	2015（H27）	2016（H28）	2017（H29）
計 画	4 6, 6 7 2	4 7, 3 2 5	4 7, 8 6 3
実 績	4 6, 7 7 6	4 7, 5 8 3	4 8, 2 0 2
比較（実績－計画）	1 0 4	2 5 8	3 3 9

（資料：杵藤地区介護保険事務所）

注1）計画値は、第6期介護保険事業計画の数値

注2）実数値は、各年度9月末現在の住民基本台帳

■ 杵藤地区の要支援・要介護者数の推移

(単位：人)

区 分	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
計 画	9, 9 6 8	1 0, 0 1 0	1 0, 0 8 5
実 績	9, 9 6 5	9, 9 6 5	9, 6 5 5
比較 (実績－計画)	△ 3	△ 4 5	△ 4 3 0

(資料：杵藤地区介護保険事務所)

注 1) 計画値は、第 6 期介護保険事業計画の数値

注 2) 実数値は、各年度 9 月末現在の介護保険事務所の認定者数

■ 杵藤地区の介護サービス費の検証

総給付費については、2015 (H27) 年度、2016 (H28) 年度ともに実績値が 5 ～ 6 % 程度下回る結果となっている。

2016 (H28) 年度の状況についてサービス類型別にみると、居住系サービスの乖離が最も大きく、実績値が 10.89% 下回っているほか、施設サービス、在宅サービスいずれも実績値が下回っています。

(単位：円)

	第6期計画①		第6期実績②		乖離率(②÷①－1)	
	2015 (H27)	2016 (H28)	2015 (H27)	2016 (H28)	2015 (H27)	2016 (H28)
総給付費	15,160,878,000	15,468,093,000	14,322,173,302	14,426,706,827	-5.47%	-6.73%
施設サービス	5,357,494,000	5,376,787,000	5,243,953,289	5,191,507,043	-2.12%	-3.45%
居宅系サービス	1,362,053,000	1,448,172,000	1,287,236,761	1,290,428,739	-5.49%	-10.89%
在宅サービス	8,441,331,000	8,643,134,000	7,800,983,252	7,944,771,045	-7.59%	-8.08%
第1号被保険者 1人あたり給付費	324,839	326,848	306,682	303,548	-5.59%	-7.13%

※介護保険事業状況報告

また、2018 (H30) 年度から 2020 (H32) 年度の総給付費（介護給付費・予防給付費）は、3 年間で約 445 億 4 千万を見込んでいます。

(単位：円)

総給付費	実 績	推 計		
	第 6 期	第 7 期		
	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
総給付費	14,795,757,000	14,635,518,000	14,879,491,000	15,024,813,000
予防給付費	685,141,000	420,722,000	420,285,000	421,177,000
介護給付費	14,110,616,000	14,214,796,000	14,459,206,000	14,603,636,000
3年間の総給付費		44,539,822,000		

重点課題2 老人福祉施設の充実

① 養護老人ホーム

【事業内容】

養護老人ホームは、65 歳以上の高齢者で、身体上、精神上、環境上問題があり、かつ、経済的に困窮し、自宅において生活することが困難な方を対象とした施設です。

【現状】

養護老人ホームは、県内に 12 施設あり、そのうち武雄市には 1 施設（シルバーケア武雄）があります。武雄市での措置者数は、2018（H30）年 2 月 1 日現在、県内 7 施設で 50 人となっています。

【今後の方針】

今後も高齢者の状況に応じて措置を行い、措置者数は 60 人程度を見込みます。
武雄市での措置者数の状況（各年度 2 月 1 日現在）は、次のとおりです。

区 分	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
措 置 者 数(人)	53	55	50	58	60	60
待 機 者 数(人)	0	0	0	0	0	0
措置施設数(箇所)	7	7	7	7	7	7

② 軽費老人ホーム

【事業内容】

家庭環境、住宅事情などにより自宅での生活が困難な低所得の 60 歳以上の方を入居対象とし、A型は食事つきで所得制限があり、B型は自炊となります。本人の収入により負担額が異なります。

【現状】

2018(H30)年 3 月末現在、武雄市には該当施設はありません。佐賀県内には A 型 1 施設（定員 50 人）があります。

【今後の方針】

今後も、県内の既存施設を広域的に活用しながら対応していきます。

③ 介護利用型軽費老人ホーム(ケアハウス)

【事業内容】

軽費老人ホームの一種です。

独立して生活するには不安がある 60 歳以上の方に、入浴や食事の提供、緊急時の対応、介護保険の在宅サービスの利用などを行う施設です。所得制限はありません。

【現状】

佐賀県内には、25 施設（定員合計 865 人）があります。

武雄市には、「ケアハウスみふね（定員 30 人）」と「ケアハウスそよかぜの杜（定員 15 人）」があります。

【今後の方針】

今後も、既存施設を活用しながら対応していきます。

④ 老人福祉センター

【事業内容】

高齢者の健康増進、教養の向上やレクリエーション、趣味のサークル活動や相互の親睦を図る施設で、武雄市では、市所有の「さざんか荘」と武雄市社会福祉協議会所有の「日輪荘」・「長寿園」があります。いずれの施設とも、生きがい対応型デイサービスセンターを併設し、高齢者の介護予防施設としての機能も持たせています。いずれの施設も土日・祝日、は休館です。

【現状】

山内町にある「さざんか荘」は、2010（H22）年 4 月に開館し、武雄市社会福祉協議会に運営を委託しており、毎週月曜日、水曜日から金曜日の週 4 回送迎バスを運行しております。

【さざんか荘】	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
開 館 日 数(日)	238	238	237	240	240	242
年間利用者数(人)	2,935	3,416	2,459	3,480	3,540	3,600
月平均利用者数(人)	245	285	288	290	295	300

武雄町にある「日輪荘」では、毎週火曜日から金曜日までの週 4 回、送迎バスを運行しています。

【日輪荘】	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
開 館 日 数(日)	237	238	237	240	240	242
年間利用者数(人)	11,445	11,348	10,592	10,680	10,740	10,800
月平均利用者数(人)	955	946	883	890	895	900

また、北方町にある「長寿園」は、2007（H19）年 4 月から武雄市社会福祉協議会に移管され、週 5 回送迎バスを運行しています。

【長寿園】	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
開 館 日 数(日)	237	238	236	240	240	242
年間利用者数(人)	6,037	6,042	6,288	6,360	6,420	6,480
月平均利用者数(人)	503	504	524	530	535	540

【今後の方針】

各老人福祉センターの利用を促進するため、サークル活動等の充実を図ります。

また、「日輪荘」、「長寿園」については老朽化しており、改修、整備について武雄市社会福祉協議会と協議を進めます。

⑤ 在宅介護支援センター

【事業内容】

在宅介護支援センターは、在宅の高齢者や高齢者を介護する方の介護に関する総合的な相談を受け、ニーズにあった保健、福祉サービスが利用できるような関係機関との連絡調整を行っています。

【現状】

保健・福祉サービスに関する相談を受け、サービス利用により安全に在宅生活が送れるようサービスの紹介や手続き等の支援をしています。

【今後の方針】

今後も高齢者に関する相談が変わらず見込まれるため、在宅介護支援センターによる相談業務を継続していきます。

相 談 内 容	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護保険サービス(件)	172	102	126	129	129	129
介護保険以外サービス(件)	1,627	1,502	1,718	1,615	1,615	1,615
そ の 他 (件)	319	305	393	354	354	354

⑥ 高齢者生活福祉センター

【事業内容】

概ね 65 歳以上のひとり暮らしや夫婦のみの世帯で独立して生活することが不安な高齢者を対象として、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活を送ることができるように支援する施設です。

【現状】

本市には、この施設はありませんが、佐賀県内には 4 施設（定員 65 人）があります。

【今後の方針】

今後も、県内の既存施設を広域的に活用しながら対応していきます。

重点課題3 生活支援の充実

在宅高齢者の自立と生活の質を確保するため、生活支援サービスや家族介護支援サービスを行っています。

また、高齢者の様々な生活支援ニーズにこたえていくためには、多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供が必要であり、生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により支援体制の充実・強化を図る必要があります。

そのなかで、移動困難な高齢者が増えていくと見込まれるため、交通事業者や利用者等様々な関係者と連携しながら、地域のニーズに合った移動手段の確保に向けた取組を進める必要があります。

① 配食サービス

【事業内容】

一人暮らしの高齢者や、高齢者のみの世帯等で、調理が困難な方に対し、本人の状態に応じた回数（最高週7日）にて、夕食を配達し、あわせて安否の確認を行っています。

また、在宅の高齢者等が健康で自立した生活を送ることができるよう、「食の自立」の観点から、対象者の心身の状況、その置かれている環境、対象者及びその家族等の希望等の情報の収集、分析を行います。そのうえで、配食サービスと他の民間配食サービスとの利用調整を行い、高齢者の「食の自立」に向けての取組を行います。

【現状】

現在、3事業所に委託しており、利用者不在時等には市と連携をとりながら安否確認を行い、高齢者等が安心して生活できるよう努めています。

【今後の方針】

今後も、利用者の意向を踏まえ、事業内容の評価、検討を進め、制度の充実を図ります。

区 分	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
登録者数(人)	253	272	315	320	320	320
延べ配食数(食)	33,731	32,987	34,450	35,000	35,000	35,000

② 家族介護者への支援

○家族介護者教室

【事業内容】

在宅で高齢者を介護する方に、介護の方法や介護者の健康づくりなどについての知識、技術を習得するための教室です。

【現状】

利用者が身近なところで、気軽に参加できるように、市内4か所の在宅介護支援センターで開催しています。

【今後の方針】

介護による家族の負担軽減、健康づくりのため今後も継続していきます。

○介護者支援事業

武雄市社会福祉協議会では、在宅で高齢者を介護する方に対し、介護者相互の交流の場を設けることにより介護者の心身の負担を解消することを目的として、介護者支援事業を実施しています。

○高齢者等家族介護用品助成事業

【事業内容】

在宅で介護をされている方の家庭の経済的負担を軽減するため、紙おむつ等の介護用品の助成券を交付しています。1枚1,000円の助成券を1か月あたり6枚支給しています。

【現状】

市内で約100名の方が利用されています。助成券が利用可能な協力店は、市内に15か所あります。

【今後の方針】

これらの家族介護者への支援事業は、利用者の意向をふまえながら継続します。

項 目	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
家族介護者教室(人)	38	55	45	50	50	50
介護者支援事業(人)	(15)	(7)	36	45	45	45
介護用品助成利用者(人)	77	105	100	100	100	100

※介護者支援事業の実績()については、事業変更前の家族介護者交流事業の実績

③ 高齢者軽度生活援助事業

【事業内容】

在宅の一人暮らしの高齢者等の自立した生活を継続するために、屋内外軽作業、除草作業等日常生活の援助を行います。

【現状】

サービスの担い手としてシルバー人材センターを活用し、事業を実施しています。

【今後の方針】

今後は、地域の住民組織、ボランティアなどを含めたサービスの担い手の拡充について検討を進め、地域と一体となった、きめ細かなサービスの提供により、制度の充実を目指します。

区 分	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
登録者数(人)	156	169	170	170	170	170
延べ利用時間数(時間)	3,758	3,966	3,425	3,500	3,500	3,500

④ 生活管理指導事業

【事業内容】

介護の認定を受けていない社会適応が困難な高齢者に対して、ホームヘルパー等の生活管理指導員を派遣し、家事や対人関係構築のために支援指導を行います。また、特別養護老人ホーム等の空きベッドを利用して、一時的に宿泊し、生活習慣等の指導、体調調整を行うための生活管理指導短期宿泊事業も行います。

【現状】

指導員派遣は4事業所、短期宿泊は市内4施設の特別養護老人ホームと1施設の養護老人ホームに委託しています。

【今後の方針】

介護の認定を受けていないが支援が必要な方に対して、ニーズに応じた支援が受けられるよう、相談対応や制度の拡充、他制度との調整を行います。

区 分		実 績			見 込		
		2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
指導員 派遣事業	利用時間(時間)	1,319	1,277	917	900	900	900
	登 録 (人)	28	21	22	22	22	22
短期宿泊事業利用者(人)		3	1	2	2	2	2

⑤ 緊急通報システム事業

【事業内容】

一人暮らしの高齢者等の安否確認や急病、災害等の緊急時に迅速な対応を図るために緊急通報装置の貸与を行っています。また、委託警備会社の訪問員が月1回の定期訪問を行い、安否の確認や機器の点検を行っています。

【現状】

利用者が緊急通報装置にて急病などの通報をされた場合は、緊急出動や救急車要請等の対応を迅速に行っています。また、訪問員が高齢者宅を訪問し、異変を感じた場合には市と連携を取りながら対応しています。

【今後の方針】

今後、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の増加が見込まれますので、緊急通報装置の確保とシステムの管理充実を図るとともに、災害時に備えた体制づくりを図っていきます。

区 分	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
貸与台数(台)	233 台	233 台	225 台	235 台	240 台	245 台

⑥ 地域住民グループによる定期訪問活動支援事業

○一人暮らし高齢者等定期訪問活動事業(愛の一声)

【事業内容】

民生委員児童委員から推薦された訪問員が、一人暮らしの高齢者等を訪問し、孤独感解消のための話し相手や安否確認を行っています。

【現状】

訪問員により定期的に安否確認を行い、必要時には家族や市に連絡してもらい早期に対応できるよう努めています。

【今後の方針】

今後も引き続き協力訪問員を確保し、事業を実施していきます。

区分	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
対象者数(人)	370	346	349	355	355	355

○みんなの見守り隊

一人暮らし高齢者など、見守りを必要とする高齢者が増加していますが、民生委員児童委員の増員がない中で十分な訪問や相談等の支援ができない状況にあります。

このため、地域住民や行政が一体となって、見守り、周囲から働きかける「みんなの見守り隊」を結成していきます。平成23年度にモデル地区を選定し、活動をはじめており、今後、地域住民に理解していただき、高齢者の不安解消に努めます。

※モデル地区・・・北方町追分地区

⑦ 老人福祉電話

【事業内容】

人的交流に欠け、安否の確認が必要な一人暮らしの高齢者等に福祉電話を貸与しています。

【現状】

現在、市内 12 名の方が利用されています。電話を設置することで、安否確認等の連絡を円滑に行うことができます。

【今後の方針】

今後も引き続き実施し、安心して暮らせる環境を整えます。

区 分	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
貸与台数(台)	14	13	12	12	12	12

⑧ 生活支援体制整備事業

【事業内容】

医療、介護のサービス提供のみならず、市が中心となって、NPO 法人、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉協議会等の生活支援のサービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていきます。

- ・生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進します

- ・協議体を設置し、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進します。

【現状】

第 1 層（市全域）の生活支援コーディネーターを配置し、協議体を定期的開催しています。また、第 2 層（町）は 1 町にコーディネーターを配置しています。

【今後の方針】

生活支援コーディネーターが中心となり、協議体での情報共有、連携を強化しながら、各町の実情に応じた生活支援・介護予防サービスの提供体制づくりを推進していきます。

項 目	実績			見込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
第2層生活支援 コーディネーター配置数(箇所)	—	—	1	9	9	9
第2層協議体設置数(町)	—	—	1	9	9	9

⑨ 身近な移動手段の確保

○福祉有償運送サービス

【事業内容】

要介護者や身体障害者など、一人では公共交通機関を利用することが困難な方に対して、NPO法人や社会福祉法人などの非営利法人が、自家用自動車を使用して行う有償の移送サービスを行っています。

【現状】

移送サービスについては、道路運送法の規定に基づき、2006（H18）年度から福祉有償運送として市内6事業所で実施されております。

【今後の方針】

今後も現行どおり継続して実施します。

(各年度末現在)

事業所名	項 目	2015 (H27)	2016 (H28)
社会福祉法人 正和福祉会	登録者(人)	2	2
	延べ実施回数(回)	32	26
社会福祉法人 武雄市社会福祉協議会	登録者(人)	7	10
	延べ実施回数(回)	89	92
社会福祉法人 天童会	登録者(人)	6	7
	延べ実施回数(回)	53	37
社会福祉法人 ナイスランド北方	登録者(人)	3	2
	延べ実施回数(回)	26	22
NPO法人 ゆとり	登録者(人)	101	133
	延べ実施回数(回)	922	937
社会福祉法人 敬愛会	登録者(人)	—	27
	延べ実施回数(回)	—	293

⑩ 地域における拠点施設の整備

○地域共生ステーション

【事業内容】

地域共生ステーションとは、地域において、高齢者、障害者、児童等誰もが自然に集い、介護や子育てなどのサービス、生活支援など、多様なサービスや活動で支えあい、さらには、協働するまちづくりの拠点となる場です。

サービス提供対象者が高齢者中心の場合を「宅老所」、対象を限定せず高齢者だけでなく子供や障害者も利用できる場合を「ぬくもいホーム」といいます。

【現状】

2018(H30)年2月末現在、市内に地域共生ステーションは15施設あります。

【今後の方針】

地域共生ステーションの整備に関し、今後も、未整備の小校区での整備に対して一部を助成していく計画です。また、地域共生ステーションに併設の交流サロン(地域住民、ボランティア、本体施設(ぬくもいホーム)利用者等が交流できる、本体施設とは隔てた空間を持ち、常時開設している施設)の整備費の助成も行います。

重点課題4 高齢者の生活環境整備

高齢者の多くの方は、長年生活してきた地域で暮らし続けることを望んでいます。

このためには、安心して生活を送ることができるように、高齢者を地域全体で支える体制をつくりあげることが必要です。

こうした観点から、高齢者の居住環境を重視し、日常生活圏域を基本に、地域ケア（地域生活支援）を支える各種サービス提供機関や公共施設などの整備を進め、高齢者が必要なサービスを円滑に利用できる環境を整備することが求められています。

① 高齢者向け住宅等

【事業内容】

介護保険の認定者に住宅改良の補助を実施しています。また、2013(H25)年度より介護予防の観点から、転倒予防のための手すりの設置等簡単な住宅改良にも補助を行い、高齢者に対応した居住環境の整備を支援しています。

【現状】

高齢者向け居室等の改良を希望する方に対しては、地域包括支援センターや在宅介護支援センター等で相談助言を行うとともに、介護保険制度や他の補助制度等の紹介を行っています。

【今後の方針】

高齢者が住み慣れた自宅でできるだけ長く生活できるよう、住環境の整備を行います。

区 分	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
ころばん住宅改修(件)	5	4	0	3	3	3
住 宅 改 良 (件)	1	2	1	2	2	2

② 高齢者が利用しやすい公共施設の整備

高齢者をはじめ誰もが住み慣れたまちで自立した生活を送るために、公共施設のバリアフリー化を促進するとともに、生活圏、行動圏が広げられるよう、公共交通機関等の生活関連施設への働きかけなど、福祉のまちづくりを推進します。

市営住宅については、「武雄市営住宅ストック総合活用計画」で、ユニバーサルデザインの考えに基づき、住戸内・共用部分・屋外・外構におけるバリアフリー化住宅を供給し、高齢者に配慮した市営住宅ストックの形成を図ることを目標としています。

③ 暮らしの安全確保

【事業内容】

徘徊などの問題行動がある認知症高齢者に対しては、地域の民生委員や地区社会福祉協議会等による対応のほか、警察や消防など各機関との協力も必要であり、連携を図りながら、安全確保に努めます。

【現状】

2016(H28)年度に防災対策の強化のため武雄市防災計画を改訂しました。また災害時に家族等の支援が困難な一人暮らしの高齢者や障がい者の方たちが、地域の中で支援を受けられるように「避難行動要支援者名簿」の整備をしました。名簿は有効に活用できるよう、毎年更新をしています。

高齢者に対する交通教室（2018(H30)年2月9日現在）

項 目	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
開催回数（回）	20	24	6
参加者数（人）	975	1,128	280

出前講座（悪質商法等）

項 目	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
開催回数（回）	36	20	26
参加者数（人）	1,506	584	871

【今後の方針】

交通安全については、高齢者の交通安全の意識向上のために、警察、自動車学校などと連携しながら、老人クラブでの交通安全教室等の支援を行っていきます。

消費者教育及び相談については、市が行う出前講座による悪質商法についての情報提供等や、佐賀県消費生活相談センターとの連携により、相談やその対応についての支援等を行っていきます。

重点課題5 認知症対策の推進

認知症になっても、本人の意思が尊重され、住み慣れた地域での生活を継続するためには、医療・介護及び生活支援を行うサービスが、有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への効果的な支援を行なうことが重要です。

① 認知症ケアパスの作成、普及

認知症の人やその家族が、その状態の進行に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護・生活支援のサービスを受けることができるのか理解できるように、地域の実情に応じた標準的な認知症ケアパスを作成し、その普及を推進します。

② 認知症サポーターの養成

【事業内容】

認知症について正しく理解し、地域で認知症の人やその家族を温かく見守り手助けする「認知症サポーター」を養成します。認知症サポーター養成講座は、キャラバン・メイトと連携をしながら開催します。

【現状】

現在、市内の約 5,000 人の方が認知症サポーターです。2017(H29)年度より、市内全中学校の2年生を対象に認知症サポーター養成講座を行っています。

【今後の方針】

今後も、認知症について普及啓発活動を行い、認知症サポーター養成講座も積極的に開催していきます。認知症の人やその家族にとって安心して住むことができる地域づくりを目指します。

認知症サポーター 養成講座	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
認知症サポーター数(人)	709 (3,585)	464 (4,049)	1,040 (5,089)	1,000 (6,089)	1,000 (7,089)	1,000 (8,089)
養成講座開催回数(回)	15 (98)	12 (110)	18 (128)	20 (148)	20 (168)	20 (188)
キャラバン・メイト数(人)	0 (48)	3 (51)	0 (51)	2 (53)	2 (55)	2 (57)

() 内は累計数

③ 認知症地域支援推進員の設置

【事業内容】

地域の実情に応じた認知症の人とその家族への支援体制の構築及び相談業務と、認知症の人に適切なサービスが提供されるための医療・介護関係者間の連携体制の構築のため、認知症地域推進員を配置します。

【現状】

地域包括支援センター職員が認知症地域支援推進員を兼務し、認知症に関する相談に応じ、認知症専門医や認知症初期集中支援チーム、また介護支援専門員等と連携をとりながら、必要なサービスにつなげています。

【今後の方針】

今後も認知症の高齢者やその家族の相談に応じ、本人や家族の意思が尊重されたサービスを提供できるよう支援していきます。また、市民が認知症について正しく理解することができるよう、普及啓発のための事業を企画実施していきます。

区 分	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
認知症地域 支援推進員数(人)	2	3	4	5	6	6

④ 認知症初期集中支援チームの設置

【事業内容】

複数の専門職が、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、初期支援を包括的・集中的に行い、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築します。

【現状】

地域包括支援センターが相談窓口となり、認知症初期集中支援チームと情報共有を行いながら、訪問による相談・支援を行っています。

【今後の方針】

認知症初期集中支援チームの利用促進のため、当事業について市民への普及啓発を行います。認知症に関する相談が寄せられた際には、認知症初期集中支援チームと連携をとり、早期に適切な医療や介護サービスへつなげられるよう支援していきます。

区 分	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
認知症初期集中支援 チーム介入数(人)	—	—	7	10	10	10

⑤ 成年後見制度等の利用促進

○成年後見制度の利用促進

【事業内容】

認知症など判断能力が低下した高齢者や障がい者の各種手続き、契約、金銭管理などをサポートする制度。利用促進に向けて関係機関との連携を図っています。

【現状】

相談件数、市長申し立て件数ともに横ばいとなっています。

【今後の方針】

成年後見制度の利用の促進に関する法律が施行されたことにより、更なる制度の周知・利用促進を図りながら、現行どおりの事業を継続します。

項 目	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
相 談 件 数 (件)	85	42	80	80	80	80
市長申し立て件数 (件)	4	6	5	5	5	5

○あんしんサポート事業

【事業内容】

武雄市社会福祉協議会では、認知症高齢者などの日常生活を営むのに支障のある方が、住み慣れた地域で安全にその人らしい生活が出来るように、各種サービスの利用手続き、日常的な金銭管理、書類等の預かり等自己決定の援助を行うあんしんサポート事業を実施しています。

【現状】

現在、あんしんサポート事業の利用契約者は下記の通りとなっています。自己決定ができなくなった場合には、あんしんサポート事業から成年後見制度へ移行し実施しています。

【今後の方針】

今後も、制度の周知を図り、現行どおり事業を継続します。

項 目	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
相談件数(件)	1,037	1,040	1,050	1,100	1,100	1,100
利用契約(人)	25	29	30	35	35	35

重点課題6 高齢者の権利擁護

①高齢者虐待防止対策の推進

【事業内容】

高齢者虐待に関する通報を受け、高齢者の安否の確認と事実調査を実施し、早期解決を図ります。また、高齢者虐待の早期発見のため地域関係者のネットワーク構築を図ります。

【現状】

高齢者虐待と認定された件数は横ばいですが、相談件数は増加傾向にあります。被虐待者が認知症のため本人の訴えや確認ができず虐待判定が難しいケースがあります。

【今後の方針】

今後も高齢者虐待防止のため理解促進を図り、現行どおり事業を継続します。

項 目	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
相談件数(件)	23	31	35	30	30	30
虐待件数(件)	2	2	3	3	3	3

重点課題7 健康づくり・生きがいづくりの推進

高齢者が健康寿命を延ばし、生きがいをもって元気に活躍するためには、健康づくり、生きがいづくりが行える体制を整える必要があります。

地域社会で、充実した生活を送るため、様々な活動が老人クラブを中心に展開されています。

明るく活力に満ちた高齢社会をつくるためには、高齢者自身が地域の中で自らの経験と知識を活かして、積極的な役割を果たしていくような社会づくりが重要になっています。

高齢者が就労や様々な社会活動に参加するとともに、健康な高齢者にあっては、介護の担い手としての活躍も期待されます。

高齢者となる「団塊の世代」も視野に入れ、これまで以上に多様化が見込まれる高齢者の生活様式、価値観、活動に対応するためには、市、地域団体、NPO、ボランティア団体等が相互に連携し、高齢者が社会参加できるしくみを確立する必要があります。

① 高齢者生きがい活動支援通所事業(生きがい対応型デイサービス事業)

【事業内容】

介護保険の要支援、要介護認定を受けていない高齢者で、自宅に閉じこもり傾向にある高齢者を対象に、生きがい対応型デイサービスセンターにおいて、心身機能の低下、認知症、寝たきり等を予防するため、給食・入浴サービス、日常訓練、健康指導等の各種サービスを提供しています。また、生きがい対応型デイサービスセンターへの利用者の送迎サービスを実施することで、外出の支援を行います。

【現状】

生きがい対応型デイサービスセンターは、市内に3か所、江北町に1か所あります。現在、多くの高齢者の方に利用していただいています。

【今後の方針】

高齢者が元気に地域で暮らせるよう、今後も外出支援を行い、さらに制度の充実や他制度の拡充を図っていきます。

延べ利用者数	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
デイサービスセンター武雄(人)	3,911	3,948	4,079	4,100	4,100	4,100
デイサービスセンター山内(人)	1,103	1,037	1,085	1,100	1,100	1,100
デイサービスセンター北方(人)	1,288	1,171	1,091	1,100	1,100	1,100
デイサービスセンターすいれん(人)	1,651	1,538	1,398	1,500	1,500	1,500

② 介護予防教室等

【事業内容】

地域包括支援センターでは、高齢者ができる限り介護を必要とせず、健康でいきいきとした生活を送ることができるように転倒予防など介護予防教室等を実施しています。

【現状】

参加をきっかけとして仲間や友達をつくることに喜びを感じた方もおられ、運動だけでなく、高齢者の仲間づくりや交流の場ともなっています。また、これまで行ってきた行政主体の事業とあわせて、2015（H27）より住民主体の事業を開始し、ニーズや地域の状況に合わせて住民が自分にあった予防活動を実践していけるよう支援しています。

【今後の方針】

今後も介護予防に関する知識の普及・啓発を行うとともに、広報・周知を積極的に行うことで、参加率や実施箇所を拡大していけるよう努めていきます。

※延べ参加者数
(開催教室数)

区 分	実 績			目 標		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
たっしやか教室	2,541 (144)	2,179 (126)	1,422 (90)	1,800 (90)	2,250 (90)	2,700 (90)
シニア音楽サロン	225 (12)	249 (54)	2,678 (90)	2,700 (90)	2,700 (90)	2,700 (90)
ストレッチ・水中運動教室	302 (24)	386 (24)	519 (48)	519 (48)	519 (48)	519 (48)
いきいき百歳体操	675 (3)	3,632 (236)	4,452 (276)	4,852 (376)	5,812 (472)	6,772 (568)
頭の体操教室	－ －	－ －	560 (20)	1,460 (70)	1,960 (110)	2,460 (160)
介護予防教室	328 (8)	217 (6)	200 (6)	200 (6)	200 (6)	200 (6)

③ 老人クラブ等への支援

【事業内容】

老後の生活を健全で豊かなものとし、福祉の増進に資することを目的として、老人クラブが組織されています。スポーツやレクリエーション事業、友愛訪問活動、趣味の作品展等の活動が自主的に展開されています。

【現状】

武雄市には、現在 70 単位老人クラブが組織され、約 5,050 人の方が加入されています。

【今後の方針】

今後も老人クラブを高齢者の生きがい健康づくりの牽引役と位置付け、自主事業への積極的な取り組みや自主的な活動の強化のため、支援施策を講じていきます。

老人クラブの会員数は、減少傾向にあり、単位老人クラブの活動等を通じて、老人クラブに対する地域での理解を深め、加入促進を図ります。

また、各地区社会福祉協議会や公民館と連携し、地域の中での役割分担をするなど、地域活動との連携を図っていきます。

会員の状況	実 績			見 込		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
団体数(団体)	72	72	70	70	70	70
会員数(人)	5,365	5,363	5,044	5,050	5,050	5,050

④ 生涯学習

学習や社会活動を通じて自己実現や生きがいを求め、充実した生活と人生を送ることを願う高齢者が増加しています。

保健福祉と生涯学習などとの連携を深めながら、多様な地域活動、学習活動の機会と場の提供に努めます。小中学生などとの世代間交流の場を設け、高齢者の社会参加を促進します。情報社会の進展に伴い、パソコン教室等の新たな学習機会の創出を図ります。

学習意欲のある高齢者に対して武雄市民大学等を開校して学びの場を提供します。

また、高齢者団体、サークル等の育成や指導者の養成、生涯学習の指導者やボランティア活動への参加など、高齢者が長年の知識と経験を地域社会に還元する機会の創出を図っていきます。

⑤ 高齢者の就業(シルバー人材センター)

【事業内容】

これまで以上に多様化が見込まれる高齢者の生活様式、価値観、活動に対応するためには、市、地域団体、NPO、ボランティア団体等が相互に連携し、高齢者が社会参加できるしくみを確立する必要があります。また、現役として活躍することを生きがいと感じられている方も多く、高齢者への就業支援も必要となります。

シルバー人材センターは、定年退職者などの高齢者に臨時的かつ短期的または特別な知識や技能を必要としない軽易な業務を提供し、生きがいづくりや地域の活性化に貢献する組織です。

【現状】

シルバー人材センター活動状況

項 目	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) (見込)
会 員 数 (人)	314	320	331
受託件数(件)	6,093	6,261	6,624
受託金額(円)	137,598,804	141,667,363	124,713,608

【今後の方針】

働く意欲と能力のある高齢者が社会の一員として生きがいをもって活動できるように、国や県、武雄市シルバー人材センター等の関係機関との連携を深め、就業に係る情報の提供に努めます。

シルバー人材センターの会員数については、増加傾向にあります。今後も加入促進を図るため、業務内容を幅広くし、高齢者が今まで培った知識経験を活かせるよう支援を行ないます。

⑥ リハビリテーション専門職等を活かした自立支援の推進

要介護状態又は要介護状態となる恐れのある高齢者の心身機能や生活課題を改善し、自立を促すためには、リハビリテーション専門職等を活用したケアマネジメントを行う必要があります。

リハビリテーション専門職等に「地域ケア会議」や「通いの場」等の介護予防の取組に定期的に関わってもらい、介護予防の機能強化につなげます。

また、2018(H30)年度より「介護予防のための地域ケア個別会議」にもリハビリテーション専門職等に関わってもらい、運動・口腔・栄養等に関する専門的な助言を得て、要支援者等の介護予防に資するケアプランの作成や介護サービス事業者のケアマネジメント力の向上を図ります。

⑦ 住民主体の通いの場の創出支援

地域においてより多くの高齢者が心身機能の維持向上を目指しながら、生きがいや役割を持って活動できる「多様な通いの場」の創出が必要です。

高齢者の誰もが継続して介護予防に取り組むには、一緒に取り組む仲間がいて、取組みの効果を高齢者自身が実感でき、高齢者が容易に通える範囲に「通いの場」が必要であり、後期高齢者や虚弱高齢者も含めて体操等が行える「住民主体の通いの場」を地域に多数創出できるよう支援します。

また、通いの場が住民主体の継続的な介護予防の取組みの場となるよう、専門職団体等と連携して高齢者の介護予防活動を支援します。

○ いきいき・ふれあいサロン(武雄市社会福祉協議会)

武雄市社会福祉協議会では「生きがいつくり」「閉じこもり防止」を目的に、ひとり暮らしに限らず、地域で暮らす高齢者を対象に特の公民館や集会所などを利用して「いきいき・ふれあいサロン」が開催されています。

サロンを利用される高齢者の方に喜んでもらえる情報や体操・レクリエーションを提供する「サロンボランティア派遣」や、レクリエーション用品の貸出しも実施されています。

本市では、「いきいき百歳体操」や「頭の体操教室」などをサロンへ紹介し、連携しながら、サロンの普及、介護予防の推進を図ります。

重点課題8 地域を支えるネットワークの充実強化

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を控え、武雄市においても高齢者数、高齢化率は増加傾向が続きます。そのような中でも高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）を構築する必要があります。

また、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関の連携体制を構築する必要があります。

さらに、これまでの行政機関やサービス提供機関の活動だけでなく、地域住民を主体とした自主的な取り組みやボランティア活動、特定非営利活動法人（NPO 法人）をはじめとする民間非営利活動も重要な役割を有していることから、このような組織との連携が今後ますます重要になってきます。

① 地域包括支援センターの機能強化

【業務内容】

介護予防を含めた高齢者の生活全体を、地域において包括的・継続的に支えるため、次の 4 つの機能を担う中核機関として、地域包括支援センターを設置しています。

地域包括支援センターには、保健師や社会福祉士、主任ケアマネージャーを配置し、介護だけでなく福祉、健康、医療などに関する相談・支援を行います。

・ 介護予防ケアマネジメント

要支援 1・2 と認定された人や、支援や介護が必要となるおそれが高い人が、自立して生活するための介護予防支援（ケアプラン作成など）

・ 総合相談支援

介護保険サービス以外のサービスを含む、高齢者や家族に対する総合的な相談、支援

・ 権利擁護

- ・ 成年後見制度の活用・促進（金銭管理や契約などに不安がある高齢者）
- ・ 権利擁護（虐待の防止、早期発見や対応等）

・ 包括的・継続的ケアマネジメント

高齢者が暮らしやすい地域にするためのさまざまな機関とのネットワークの構築、及び連携

- ・ ケアマネージャーへの個別指導や相談・支援
- ・ 「地域ケア個別会議」などによる自立支援型ケアマネジメントの支援
- ・ 支援困難事例等への指導・助言

【今後の方針】

地域包括支援センターが、その機能を適切に発揮しより質の高い業務を行うためには、増大する業務の状況を明らかにし、職員の確保や資質の向上、ケアマネジメント力の向上など、地域包括支援センターの機能強化に向け計画的に取り組んでいきます。

② 情報共有・情報提供の体制

保健福祉サービスについては、「広報たけお」、市のホームページやケーブルテレビ等各種広報媒体を活用し周知を図っています。また、地域でのきめ細かな相談や情報提供を行うため、在宅介護支援センター、民生委員児童委員、地域保健推進員等に対し制度概要についての周知等を図り、相談・情報提供体制の整備を図っています。

今後も、市役所の保健・福祉担当課が主な窓口として、各種相談や情報の提供を行います。

また、地域包括支援センターを中心として、在宅介護支援センター、武雄市社会福祉協議会等の関係機関においても各種相談に応じるとともに、利用者が必要なときに必要なサービスを利用できるように、地域包括支援センターと関係機関との連絡調整体制の整備充実を図ります。

③ 多職種連携による地域ケア会議の推進

【事業内容】

地域包括ケア実現のため、地域の実情にそって地域資源をどのように構築していくべきか、課題を的確に把握し解決していく手段を導き出すための会議です。自立支援に資するためのケアプランなど個別の事例研究を行いながら、高齢者が身近な地域で効果的なサービスを受けられるように、保健・医療・福祉の各関係機関と連携し地域のネットワークを構築することで地域ケアシステム実現を目指します。

【現状】

2015(H27)年度より地域ケア会議を開始し、地域課題等の検討を行っています。

【今後の方針】

今後も計画に沿って地域ケア会議を実施します。

項 目	実績			目標		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
地域ケア推進会議(回)	4	3	3	2	2	2
地域ケア個別会議(回)	—	—	2	12	12	12

④ 医療・介護の連携

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進することが必要です。

武雄市においては、武雄杵島地区医師会に在宅医療介護連携推進事業を業務委託し、連携を取りながら以下の事業について実施しています。

- (ア) 地域の医療・介護資源の把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発
- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

◇医療機関での相談窓口（市内）

在宅医療介護相談窓口病院	2 か所
認知症サポート医	1 人

⑤ 地域関係団体・ボランティア等の民間団体との連携

高齢者の保健福祉を充実させるためには、関連施設やその関係者のみではなく、各種地域団体やボランティア団体等との連携が不可欠です。

武雄市では、これまで各種団体との連携支援体制を推進してきましたが、今後さらに多様な担い手による多様なサービスが必要になることから、高齢者の在宅生活の安心確保のため、多様なニーズに対応出来るように、ボランティア団体や民間非営利団体の活用を積極的に図っていきます。

○ 武雄市社会福祉協議会

武雄市社会福祉協議会は、市民の福祉ニーズ・地域の福祉課題等への対応、また、市民の地域福祉への関心を高めるため、先駆性・開拓性・柔軟性をもって、地域福祉推進の中核組織として活動を展開しており、ますますその役割が重要になってきています。

武雄市としても、より市民に密着した地域福祉を促進する組織として連携を図ります。また、生活困窮者の自立支援につながる取り組みを社会福祉協議会と連携して積極的に取り組んでいきます。

○ 武雄市民生委員児童委員連絡協議会

地域福祉において中心的役割を担う武雄市民生委員児童委員連絡協議会の活動は、地域に根ざした高齢者に対するきめ細やかなケアを考えるうえでも重要な役割を持っています。これまで、地域において要援護者(世帯)、とりわけ、高齢者世帯の相談相手として、さまざまな活動をしてきています。

また、ひとり暮らしや生活困難な高齢者については、対象者を把握するとともに、保健福祉サービスを紹介したり、または、訪問や声かけをして、孤立しないように見守りをするなど、高齢者の生活に密着した活動を行い、その生活を支えるという役割を担ってきました。

しかし、近年、在宅要援護者(世帯)のニーズがますます多種多様化する中で、民生委員児童委員の個別援助だけでは、その対応が難しい状況になっており、このことから、地域住民・自治会・ボランティア・関係団体、関係機関等とのネットワークを形成しながら、相互協力体制による援助活動が求められています。「だが、いつ、どのように、どんなサービスを提供したらいいか」を判断しながら、その対応を的確に連携先につなぎ、要援護者(世帯)の橋渡しをするといった役割が期待されています。

○ 武雄市食生活改善推進協議会

武雄市内の食生活改善推進員相互の連絡を密にして、組織的に栄養・食生活改善及び健康づくりの実践活動を推進することにより、市民の健康と福祉の増進に寄与することを目的に食生活改善推進員養成講座修了者並びに賛同者をもって構成するボランティア団体です。

市の委託事業やボランティア活動として、市内の各町で開催する各種栄養教室、望ましい食生活普及講習会等を実施しています。また、地域での健康に関する情報提供、啓発活動として、母子の健康、高齢者の健康食事等の活動も行っています。今後も、このような活動に対し、本市としても積極的に支援していきます。

○ ボランティア活動の推進 ～ 武雄市ボランティア連絡協議会

武雄市では、ボランティア団体が47団体、765人が登録しており、それ以外にも300名程のボランティア活動をされている方もおり、武雄市社会福祉協議会が主な活動の窓口になっています。

また、ボランティア団体間の交流、情報交換及び活動の調整等を行うため、武雄市ボランティア連絡協議会が組織され、積極的な活動が展開されています。

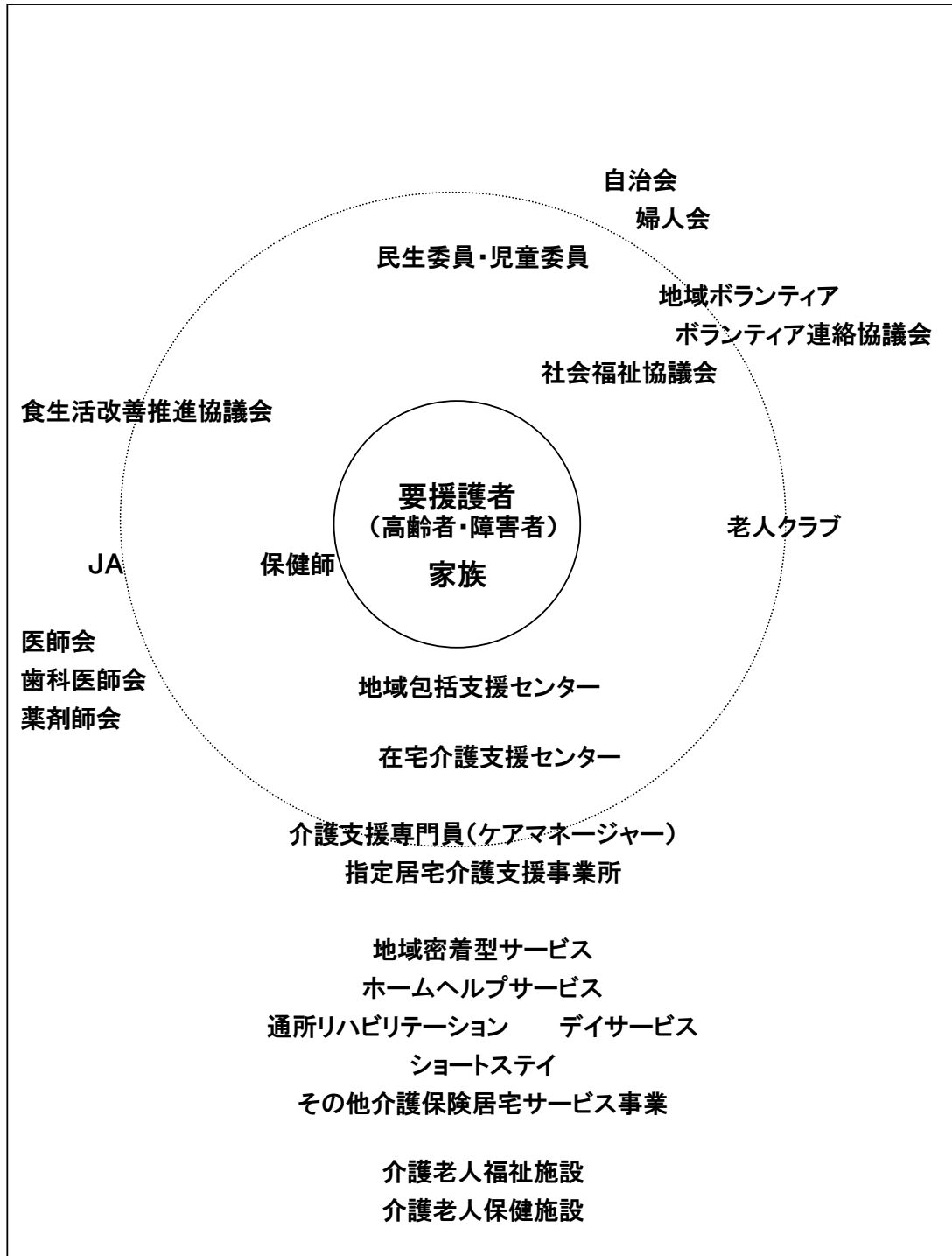
武雄市としては「ボランティア活動とは何か」を理解してもらうために、幼少期から体験の場を設けたり、生涯にわたる「自己発見の場」として高齢者のボランティア活動への取組みを支援するなど、行政、学校、企業、市民などが一体となってボランティア活動の推進を図っていきます。

○ 地域その他関係団体との連携

老人クラブ、自治会、婦人会、JA、各地区社会福祉協議会等の地域団体とも調整をしながら連携強化を図ります。

【武雄市地域ケアネットワーク】

連携体制等を総括したものとして、地域を支える武雄市地域ケアネットワークを構築します。



武雄市の老人福祉関係施設・事業者一覧

■福祉施設(介護保険以外)

平成30年2月1日現在

種 別	名 称	定員	所在地	電 話
養護老人ホーム	シルバーケア武雄	56	武雄市朝日町大字甘久4269-28	23-0717
ケアハウス	みふね	30	武雄市東川登町大字永野3964-3	22-0750
	そよかぜの杜	15	武雄市山内町大字大野7045	45-5155
老人福祉センター	日輪荘(社協)		武雄市武雄町大字武雄4341	22-3288
	長寿園(社協)		武雄市北方町大字志久5772-5	36-2188
	さざんか荘(武雄市)		武雄市山内町大字三間坂甲13887-1	45-5131
生きがい対応型 デイサービス	武雄市デイサービスセンター武雄(湯遊クラブ)	20	武雄市武雄町大字武雄4341	20-0131
	武雄市デイサービスセンター山内(ふれあい)	20	武雄市山内町大字三間坂甲13887-1	45-2366
	武雄市デイサービスセンター北方(やわらぎ)	15	武雄市北方町大字志久5772-5	36-2188
	寄り合い所 すいれん	-	杵島郡江北町大字山口3399-1	0952-71-6107
有料老人ホーム	有料老人ホーム 白岩の里	29	武雄市武雄町大字永島15027-1	26-8326
	有料老人ホーム 永しまの里	30	武雄市武雄町大字永島14916-1	28-9225
	有料老人ホーム 眺望の杜	55	武雄市武雄町大字永島16243	28-9920
	有料老人ホーム スリヨシラソ	16	武雄市武雄町大字永島字丸熊15860-3	22-3787
	ニューハートピア(H27.7.27～休止中)	12	武雄市武雄町大字永島15750-1	23-4477
	住宅型有料老人ホーム みふねの郷	30	武雄市武雄町大字武雄5542-186	22-3969
	有料老人ホーム 道の家	34	武雄市武雄町大字富岡11083-1	26-8100
	こころの杜	10	武雄市橋町大字大日8042-2	23-5963
	住宅型有料老人ホーム えるむの杜	17	武雄市西川登町大字小田志16799	28-2213
	竜門堂 有料老人ホーム 爽風館	53	武雄市山内町大字三間坂甲14043	45-0650
	竜門堂 有料老人ホーム すずかぜ	26	武雄市山内町大字大野6199-1	45-2975
	杏の丘 武雄	50	武雄市北方町大字大崎5025-49	36-0438
	warmly ひだまり山荘	13	武雄市山内町大字宮野1888-85	20-7074
	ぼっかぼっか武雄館	36	武雄市北方町大字大崎2005-9	36-0987
地域共生ステーション (宅老所、ぬくもいホーム)	介護福祉ステーション 森の風 (御船小学校区)	10	武雄市武雄町大字武雄6519-1 (下西山)	22-2188
	宅老所 えん (御船小学校区)	10	武雄市武雄町大字武雄205 (上西山)	23-6826
	宅老所 シニアケアたけお (朝日小学校区)	15	武雄市朝日町大字甘久4269-28 (南上滝)	26-8071
	ぬくもいホーム 明神の家「ひいらぎ」(朝日小学校区)	15	武雄市朝日町大字中野6872 (中野)	23-8516
	ぬくもいホーム太陽 (朝日小学校区)	15	武雄市朝日町大字中野8604-2 (川上)	20-0161
	宅老所 ふれあいの里たちばな (橋小学校区)	12	武雄市橋町大字片白346 (二俣)	23-1810
	デイサービスひだまり (東川登小学区)	5	武雄市東川登町大字永野6363-4 (内田)	28-9465
	介護福祉ステーション 森の音 (西川登小学校区)	10	武雄市西川登町大字小田志16865(小田志)	28-2336
	介護福祉ステーション 風の音 (西川登小学校区)	25	武雄市西川登町大字小田志16859-1 (小田志)	28-2077
	宅老所 はるかぜ1号館 (山内西小学校区)	9	武雄市山内町大字宮野23719-3 (立野川内)	45-5717
	高齢者自立支援センター れんげ (山内西小学校区)	9	武雄市山内町大字大野7044-4 (大野)	45-5155
	宅老所 はるかぜ2号館 (山内東小学校区)	9	武雄市山内町大字三間坂甲13726-3 (三間坂)	45-5711
	宅老所 はるかぜ3号館 (山内西小学校区)	20	武雄市山内町大字大野6241-6 (大野)	45-5010
	宅老所 和の家 (北方小学校区)	24	武雄市北方町大字大崎4070-1 (西宮裾)	36-5800
	宅幼老所 笑びす (北方小学校区)	6	武雄市北方町大字大崎753 (久津具)	36-4936
地域包括・ 在宅介護支援センター	武雄市地域包括支援センター		武雄市武雄町大字昭和 武雄市役所内	23-9135
	在宅介護支援センター コスモス		武雄市武雄町大字永島字会町13821	22-3096
	在宅介護支援センター たんぽぽ		武雄市朝日町大字中野字沼口11296-1	26-0317
	在宅介護支援センター ひいらぎ		武雄市武内町大字真手野26346	20-8083
	在宅介護支援センター 御船荘		武雄市東川登町大字永野4058-5	22-5613
	在宅介護支援センター そよかぜの杜		武雄市山内町大字大野7045	45-5155
	在宅介護支援センター 杏花苑		武雄市北方町大字志久4528-6	36-5353

■介護保険施設				
種 別	名 称	定員	所在地	電 話
介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 御船荘	50	武雄市東川登町大字永野4058-5	23-5523
	特別養護老人ホーム ひいらぎ	50	武雄市武内町大字真手野26346	20-8001
	特別養護老人ホーム そよかぜの杜	50	武雄市山内町大字大野7045	45-5155
	特別養護老人ホーム 杏花苑	38	武雄市北方町大字志久4528-6	36-5350
介護老人保健施設	老人保健施設 コスモス	80	武雄市武雄町大字永島13821	20-1231
	老人保健施設 たんぽぽ	80	武雄市朝日町大字中野字沼口11296-1	26-0311
介護療養型医療施設	医療法人敬和会 持田病院	5	武雄市武雄町大字武雄5858-1	22-3138
	医療法人竜門堂 大野病院	50	武雄市山内町大字大野6351-1	45-2233
地域密着型介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 杏花苑	12	武雄市北方町大字志久4528-6	36-5350
地域密着型特定施設 入居者生活介護	有料老人ホーム きらら	23	武雄市武雄町大字富岡9576-1	20-1030
	介護付有料老人ホーム ほのか	22	武雄市北方町大字大崎遅焼2367-3	36-6001
特定施設入居者生活介護	介護付有料老人ホーム シニアケアたけお	23	武雄市朝日町大字甘久4269-28	26-8071
小規模多機能居宅介護	にわきの里(休止中H26.11.1～H32.7.31)	12	武雄市西川登町神六20116-1	20-6027
■介護保険(居宅サービス事業所等)				
種 別	名 称	所在地	電 話	
居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所 コスモス	武雄市武雄町大字永島13821	22-3096	
	スリヨンラソ(休止中H29.10.10～H30.10.10)	武雄市武雄町大字永島丸熊15860-3	22-5386	
	持田病院ひまわり	武雄市武雄町大字武雄5858-1	22-3138	
	ケアマネジメントサービスふれあい	武雄市武雄町大字武雄5542-186	22-3969	
	武雄杵島地区医師会 指定居宅介護支援事業所	武雄市武雄町大字昭和300	22-3344	
	ケアプランセンター 道の家	武雄市武雄町大字富岡11083-1	26-8100	
	居宅介護支援事業所 紀水苑	武雄市武雄町大字富岡10046-1	28-9371	
	居宅介護支援センターシニアケアたけお	武雄市朝日町大字甘久4269-28	26-8071	
	特定非営利活動法人あさひケアプラン太陽	武雄市朝日町大字中野8604-2	20-0161	
	居宅介護支援事業所 たんぽぽ	武雄市朝日町大字中野字沼口11296-1	26-0311	
	居宅介護支援事業所 ひいらぎ	武雄市武内町大字真手野26346	20-8001	
	御船荘 ケアマネジメントサービス	武雄市東川登町大字永野4058-5	22-5613	
	医療法人清哲会 指定居宅介護支援事業所	武雄市山内町大字鳥海9784	45-2007	
	ケアマネジメントサービス そよかぜの杜	武雄市山内町大字大野7045	45-5155	
	竜門堂 居宅介護支援事業所	武雄市山内町大字大野6604-1	45-2757	
	ケアマネジメントサービス 杏花苑	武雄市北方町大字志久4528-6	36-5353	
	居宅介護支援サービス ほほえみ	武雄市北方町大字大崎字馬場4070-1	36-5800	
		ぼっかばか・ハートケア武雄	武雄市北方町大字大崎2005-9	36-0987
訪問介護	株式会社 武雄タクシー介護事業部	武雄市武雄町大字武雄5834-1	23-1111	
	有限会社介護家事サービス武雄 訪問介護事業所	武雄市武雄町大字昭和133-1	23-2095	
	びすけつと武雄	武雄市武雄町大字富岡12243-1	23-2188	
	ヘルパーステーション 道の家	武雄市武雄町大字富岡11083-1	26-8100	
	あすなる	武雄市武雄町大字富岡12440-1	28-9127	
	訪問介護センター シニアケアたけお	武雄市朝日町大字甘久4269-28	26-8071	
	ホームヘルプサービス ひいらぎ	武雄市武内町大字真手野26346	20-8001	
	御船荘 ホームヘルプサービスステーション	武雄市東川登町大字永野4058-5	23-6767	
	竜門堂訪問介護事業所 すずかぜ	武雄市山内町大字大野6199-1	45-2975	
	ホームヘルプサービス そよかぜの杜	武雄市山内町大字大野7045	45-5155	
	竜門堂訪問介護事業所 爽風館	武雄市山内町大字三間坂甲14043	45-0650	
	訪問介護サービス ほほえみ	武雄市北方町大字大崎字馬場4070-1	36-5800	
	ホームヘルプ事業 杏花苑	武雄市北方町大字志久4528-6	36-5622	
	セントケア武雄	武雄市北方町大字志久2-1	36-0731	
	杏の丘訪問介護ステーション(休止中H29.7.1～H30.6.30)	武雄市北方町大字大崎5025-49	36-0438	
	訪問看護	武雄杵島地区医師会 きしま訪問看護ステーション	武雄市武雄町大字昭和300	22-3344
		訪問看護ステーションハートフルまんてん(休止中H29.8.2～H30.2.4)	武雄市武雄町大字昭和16-7	23-1417
		訪問看護ステーション ease	武雄市武雄町大字昭和801果林コーポ201	33-0012
訪問看護ステーション 道の家		武雄市武雄町大字富岡11083	26-8100	

種 別	名 称	定員	所在地	電 話
通所リハビリテーション	副島整形外科クリニック通所リハビリテーションセンター 骨	40	武雄市武雄町富岡724-1	22-2155
	通所リハビリテーションコスモス	45	武雄市武雄町大字永島13821	20-1231
	デイケアセンター たんぽぽ	50	武雄市朝日町大字中野字沼口11296-1	26-0311
通所介護	デイサービス永しまの里	35	武雄市武雄町大字永島14916-1	28-9255
	デイサービス 白岩の里	30	武雄市武雄町大字永島15027-1	26-8326
	スリヨンラソ	19	武雄市武雄町大字永島字丸熊15860-3	22-3787
	デイサービスセンター眺望の杜	35	武雄市武雄町大字永島16243	28-9960
	医療法人清哲会 西山デイサービスセンター	30	武雄市武雄町大字武雄字曲田2132-2	27-8118
	持田病院デイサービスセンター	25	武雄市武雄町大字武雄5858-1	22-3138
	デイサービス ふれあい	30	武雄市武雄町大字富岡10018	22-3969
	デイサービスセンター 道の家	60	武雄市武雄町大字富岡11083	26-8111
	デイサービスセンター シニアケアたけお	33	武雄市朝日町大字甘久4269-28	23-8071
	特定非営利活動法人あさひ デイサービス太陽	25	武雄市朝日町大字中野8604-2	20-0161
	デイサービスセンター ひいらぎ	30	武雄市武内町大字真手野26346	20-8001
	デイサービスセンター 御船荘	25	武雄市東川登町大字永野4058-5	23-4065
	医療法人東雲会 小野医院デイサービスセンター	20	武雄市東川登町大字永野6093-3	23-3002
	介護福祉ステーション 風の音	25	武雄市西川登町大字小田志16859-1	28-2077
	デイサービス えるむの杜	25	武雄市西川登町大字小田志16799-1	28-2213
	医療法人清哲会 藤瀬医院デイサービスセンター	30	武雄市山内町大字鳥海9784	45-5633
	竜門堂デイサービスセンター 爽風館	20	武雄市山内町大字三間坂甲14043	45-0650
	竜門堂デイサービスセンター げんき。	70	武雄市山内町大字大野6604-1	20-7151
	デイサービスセンター そよかぜの杜	40	武雄市山内町大字大野7045	45-5155
	竜門堂デイサービスセンター はるかぜ (休止中H29.10.1～H30.3.31)	25	武雄市山内町大字宮野23719-3	45-5717
	デイサービスセンター 杏花苑	45	武雄市北方町大字志久4528-6	36-5622
	ぽっかぽか・ハートケア武雄	30	武雄市北方町大字大崎2005-9	36-0987
	デイサービス ほほえみ	30	武雄市北方町大字大崎字馬場4070-1	36-5881
	杏の丘武雄	35	武雄市北方町大字大崎5025-49	36-0438
地域密着型通所介護	介護福祉ステーション 森の風	10	武雄市武雄町大字武雄字上研石川16519-1	22-2188
	医療法人たけお内科医院	15	武雄市武雄町大字昭和11-2	23-4988
	デイサービスえん	10	武雄市武雄町大字武雄205	23-6826
	リハビリaid武雄健創	10	武雄市武雄町大字富岡字サキ田7847-7	27-8123
	明神の家 ひいらぎ	18	武雄市朝日町大字中野6872	23-8516
	ケアホーム こころの杜	18	武雄市橋町大字大日8042-2	23-5963
	医療法人中川内医院デイサービスセンター	10	武雄市武内町大字真手野28178-1	20-8180
	デイサービス ひだまり	12	武雄市東川登町大字永野6363-4	28-9465
	介護福祉ステーション 森の音	15	武雄市西川登町大字小田志16865	28-2336
	特定非営利活動法人みつわデイサービス 笑びす	10	武雄市北方町大字大崎753	36-4936
	デイサービス久津具	10	武雄市北方町大字大崎760-1	36-3000
短期入所生活介護	ショートステイ ひいらぎ	20	武雄市武内町大字真手野26346	20-8001
	御船荘 ショートステイサービスセンター	20	武雄市東川登町大字永野4058-5	23-5523
	大野病院ショートステイ	8	武雄市山内町大字大野6351-1	45-2233
	ショートステイサービス そよかぜの杜	20	武雄市山内町大字大野7045	45-5155
	ショートステイ 杏花苑	20	武雄市北方町大字志久4528-6	36-5350
認知症対応型通所介護	グループホーム みどりの丘	3	武雄市武雄町大字昭和229	22-3770
	認知症対応型通所介護 道の家(休止中H30.1.11～H31.3.31)	12	武雄市武雄町大字富岡11083-1	26-8100
	デイサービスふれあいの里たちばな	10	武雄市橋町大字片白425-2	23-1533
	ふれあいの里たちばな(共用型)	3	武雄市橋町大字片白346	23-1810
	認知症対応型通所介護事業所 爽風館	12	武雄市山内町大字三間坂甲14043	45-0650
	グループホーム きたがた(共用型)	3	武雄市北方町大字志久4531-18	36-2410

種 別	名 称	定員	所在地	電 話
認知症高齢者対応型 共同生活介護	グループホーム ゆつつらーと	18	武雄市武雄町大字富岡10101-3	22-0070
	グループホーム ゆかい	9	武雄市武雄町大字富岡12245-6	20-0310
	グループホーム みどりの丘	18	武雄市武雄町大字昭和229	22-3770
	ふれあいの里 たちばな	9	武雄市橋町大字片白346	23-1810
	グループホーム みふね庵	9	武雄市東川登町大字永野4058-5	20-0506
	竜門堂グループホーム あったか荘	18	武雄市山内町大字三間坂甲13842-12	20-7180
	グループホーム きたがた	18	武雄市北方町大字志久4531-18	36-2410
	グループホーム きたがた湖山亭	9	武雄市北方町大字志久4531-18	36-2907
	グループホーム ひなたぼっこ(休止中H27.8.1～H30.3.31)	18	武雄市北方町大字大崎2367-3	36-6003
福祉用具貸与	プラスケア 武雄		武雄市武雄町大字武雄8037	26-0255
	株式会社 新和メディカル		武雄市武雄町大字昭和109	23-3605
	太陽シルバーサービス株式会社 佐賀営業所		武雄市朝日町大字甘久3474-3	26-8935
	有限会社 アサヒ		武雄市武内町大字真手野28256-7	20-8050
福祉用具販売	プラスケア 武雄		武雄市武雄町大字武雄8037	26-0255
	株式会社 新和メディカル		武雄市武雄町大字昭和109	23-3605
	太陽シルバーサービス株式会社 佐賀営業所		武雄市朝日町大字甘久3474-3	26-8935
	有限会社 アサヒ		武雄市武内町大字真手野28256-7	20-8050

武雄市高齢者福祉計画策定委員会委員名簿

番号	所 属	役 職	氏 名
1	武雄市社会福祉協議会	会 長	古賀 滋
2	武雄市区長会	会 長	鐘ヶ江 義昭
3	武雄市民生委員児童委員連絡協議会	会 長	富永 健
4	武雄市老人クラブ連合会	会 長	笠原 征夫
5	武雄市地域婦人連絡協議会	会 長	上野 淑子
6	武雄市ボランティア連絡協議会	会 長	西田 芳子
7	武雄杵島地区医師会(代表 貝原医院)	院 長	貝原 良太
8	特別養護老人ホーム ひいらぎ	施設長	谷口 哲彦
9	介護老人保健施設 コスモス	施設長	木田 晴海
10	養護老人ホーム シルバーケア武雄	施設長	松尾 健司
11	居宅介護支援事業所(代表 たんぽぽ)	管理者	中村 嘉孝